

1) 財務委員会

委員長：岡崎 睦

委員：赤松 正、多久嶋亮彦、松田 健、四ッ柳高敏

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

主な議題：

1. 2025 年度収支決算
2. 2026 年度予算案

活動の概要：

2025 年度収支決算、2026 年度予算案について確認を行った。

2) 専門医認定委員会

委員長：三川 信之

担当理事：門松 香一

委員：荒田 順、漆舘 聡志、大西 文夫、檜山 和也、門田 英輝、
桑原 理充、坂本 道治、櫻庭 実、清水 雄介、高木 信介、
田中 里佳、時岡 一幸、富田 興一、中川 雅裕、塗 隆志、
橋川 和信、林 礼人、日原 正勝、福田 憲翁、舟山 恵美、
松峯 元、森 弘樹、八木俊路朗、山下 修二、山下 昌信、
力丸 英明

開催年月日：

1. 2025 年 10 月 17 日（金）（会告・手引き等の修正案、書類審査と認定審査についての確認・TKP ガーデンシティ鹿児島中央）
2. 2025 年 11 月 23 日（日）（書類審査・L stay & grow 晴海）
3. 2026 年 1 月 8 日（木）、9 日（金）（認定審査・L stay & grow 晴海）
4. メール会議多数

主な議題：

1. 専門医書類審査
2. 専門医認定審査（筆記試験・口頭試問・最終結果）
3. 会告・手引き等修正に関する検討
4. 専門医認定試験の電子化

活動の概要：

1. 専門医申請者 172 名に対し、研修期間、規定に即した記載などの書類審査を行った。再提出後の再審査の結果、合格 171 名、不合格 1 名となった。
2. 書類審査合格者 171 名に対して筆記試験と口頭試問の審査を行ったが、2 名が体調不良により欠席し 169 名が受験した。筆記試験では試験問題の一部は問題集から改変して出題し、また新作の図付き問題 5 問と記述式問 2 問を出題して採点した。筆記試験の結果は、最高点 100 点、最低点 68 点、平均 92.2 点であった。合否は、書類審査の減点、筆記試験、口頭試問の総合評価とした。

2025年度審査の最終結果

専門医審査申請者：172名

資格（書類）審査不合格者：1名

筆記・口頭試問不合格者：12名、欠席者：2名

専門医試験合格者：157名

欠席者2名を除く全受験者の合格率：92.4%（157/170）

筆記試験受験者の合格率：92.9%（157/169）

（なお、再試問該当者7名、うち1名は合格）

欠席者2名は医師診断書の提出があり、1名は翌年の書類審査は免除可と判断したが、もう1名は2年連続の欠席であり、次年度再度受験する場合は書類審査からとなる。なお、書類合格で筆記試験・口頭試問に欠席、または不合格となった者に対しては次年度受験に際してのみ書類の再審査は免除可能とする扱いとなるが、その場合書類の減点も次年度審査に引き継がれることとなる。書類内容を改良して次年度再提出することも可能であり、その場合には当該年度の委員会判断で一から再審査となる。2025年度より、書類審査合格となり筆記・面接試験において不合格となった受験生に対しては、書類審査の減点数を通知することとした。これにより、書類の再審査を免除とするか、書類内容を改良して次年度新たに再提出するかの判断材料になるかと考える。

3. 新専門医制度下における会告の不明確な点や追加の情報、NCDとの紐付けに対する対応などを検討し、加筆・修正した会告を発出した（2025年5月、2025年8月、2025年9月）。
4. 2025年度より、書類審査の再提出データの送付、最終的な受験生への合否通知は従来の郵送ではなく、メール連絡とした。今後は申請方法（申請書類送付）に関してもオンライン化し、申請から審査まですべてオンラインで可能となるよう、システム構築する予定である。（専門医の更新審査は会員マイページより申請できる仕様となっている。）

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：今井 啓道

委員：岩尾 敦彦、戎谷 昭吾、大谷 直矢、奥本 隆行、畔 熱行
小室 明人、高木 誠司、竹内 正樹、根本 充、野口 昌彦
浜島 昭人、福田 憲翁、森本 尚樹

開催年月日：

2025年7月15日 第一回委員会（WEB会議）

2026年2月1日 更新審査委員会（WEB会議）

他、メール会議複数回

活動内容：

1. 日本専門医機構の整備指針変更にもなう指導内容の通知および内容の検討（共通講習B、機構専門医更新基準の変更についての対応）
2. 「終身認定医（シニアキャリア制度）」制度について検討

3. 2025 年度専門医資格更新審査
4. 専門医講習審査（領域講習・共通講習）
5. 専門医更新の活動休止／猶予申請者への対応
6. 委員会承認の関連学会・研修会等の更新および新規申請審査

活動の概要：

1. 「領域講習の申請が可能となる学術集会・研究会等登録申請手続きのお知らせ」を 2025 年 9 月 20 日に告示
2. 機構専門医更新基準の変更を 2025 年 10 月 15 日付けで告示
 - 1) 2027 年度更新から 3 回以上更新時の実績報告免除の廃止
 - 2) 実績報告に替える CME e-test による更新点 10 点の付与を学術委員会と連携し調整中
 - 3) 更新の猶予申請または活動休止申請の明示
3. 機構専門医更新における「共通講習 B」必修化を 2025 年 11 月 20 日付けで告示
 - 1) 本講習の対象者について、専門医番号で明示
 - 2) e-learning での受講方法と免除者の対応について記載
4. 形成外科領域専門医資格更新審査の手引きを 2025 年 11 月 20 日付けで告示
5. 形成外科学会終身認定医制度の創設について案を提案
 - 1) 本制度の対象として、
 - ・ 65 才以上で且つ 3 回以上更新している学会・機構専門医
 - 2) 認定料 30,000 円
 - 3) 認定医は学会・機構専門医資格を失う
 - 4) 終身認定医認定証を発行し、学会在籍中は学会 HP にお名前を掲示
6. 領域講習会・共通講習会合わせて 61 件を審査
7. 専門医更新申請を審査
更新申請者：652 名（合格者：647 名、不合格者：4 名、1 名が猶予申請へ変更）
更新猶予承認者：14 名
8. 2025 年度専門医更新申請に多数認めた再提出事例を示し、2026 年度更新予定者に専門医更新申請における注意喚起をおこなった

4) 専門医試験問題作成委員会

委員長：門田 英輝

担当理事：宮脇 剛司

委員：飯田 拓也、伊東 大、伊藤 文人、宇佐美泰徳、戎谷 昭吾
大山 拓人、岡部 圭介、尾崎 峰、檜村 勉、上藪 健一
窪田 吉孝、小久保健一、坂本 道治、坂本 好昭、佐野 和史
杉本 孝之、手塚 崇文、浜島 昭人、林 稔、林田 健志
松井 瑞子、松本 洋、宮本 純平、守永 圭吾

事務局：上藪 健一

開催年月日：

1. 2025 年 8 月 4 日（zoom 委員会）
2. その他、適宜メール委員会を開催

活動報告：

1. 専門医試験の新作問題（MCQ:25題、視覚資料付き:45題）を作成した。とくに視聴資料付き問題の新作作成に注力した。
2. 試験問題の偏りの検討・是正について
近年のトピックかつストックの少ない項目（リンパ浮腫、脈管奇形、眼瞼下垂、顔面神経麻痺等）を中心に問題を追加した。
3. 専門医試験問題集・解説の充実
例年通り、過去問の間違い修正、解説の修正および追加を行った。
受験生のアンケート調査から過去問の問題を拾い上げて、修正を追加した。
4. 視覚資料付き問題 10 題を選出し専門医認定委員会に提出、うち 5 題が 2025 年度専門医認定試験の筆記問題に出題された。
5. 2025 年度専門医認定審査における筆記試験問題の解説記事投稿
専門医認定委員会と連携し、2025 年度専門医認定試験問題の解説文を作成した。
日形会誌編集委員と連携し日本形成外科学会誌 2026 年 5 月号に掲載予定。
6. 試験問題データベース管理、ホームページへのアップロードについて
MCQ の新作問題を解説文ともに追加しデータ管理委託先(春恒社)に提出予定。
Web 版試験問題データベースの改善（誤答した問題が分かるようなシステムへの改良、問題の検索機能の追加など）を検討中。
7. スマートホン用専門医試験問題アプリ MinNote の導入
2024 年より日形会会員作成の試験問題アプリを非公式に導入しており、アプリに関して受験生にアンケート調査を行った。アンケート回答者全体の 41.7%がアプリを使用していた。公式の web 版試験問題より使用しやすいという意見もあった。今後、アプリを公式に導入するか検討中である。

5) 認定施設認定委員会

委員長：久保 盾貴

担当理事：松村 一

委員：岡部 圭介、荻野 晶弘、齊藤 晋、榊原 俊介、高木 誠司
高須 啓之、沼尻 敏明、林 利彦、兵藤伊久夫、藤井 美樹
古川 洋志、水野 博司、宮本 慎平、森 秀樹、四ッ柳高敏

開催年月日：2025 年 5 月 18 日：2026 年度専門研修プログラム審査会

その他随時メール審議

- 主な議題：1. 研修プログラムの新規・更新申請審査
2. 各プログラムの変更申請への対応
3. シーリング対象都道府県における定員数調整

活動の概要：

1. 2026 年開始の新専門医制度における研修プログラムおよび基幹施設・連携施設の構成について、学会内の一次審査を上記日程で行った。
申請 114 プログラム（更新 112、新規 2）について審査し、修正が必要な施設は通知した。
2. 専攻医募集に関して
次年度の研修プログラムの専攻医に関する定員に関しての報告・審議が行われた。

シーリング対象以外の都道府県におけるプログラム施設から定員数の増加、連携施設の追加・変更の申請が 26 件あり、メール審議の上承認した。

3. シーリング対象都道府県における定員数調整の検討

東京都：基幹プログラムからの要望に基づき定員数調整について検討し、特別地域連携枠の配分を行い承認された。

大阪府、兵庫県、福岡県：基幹プログラム責任者間での定員数調整を行っていただき承認された。

4. 2027 年開始の新専門医制度における研修プログラムおよび基幹施設・連携施設の構成について、学会内の一次審査を 2026 年 5 月 17 日に行う。

報告事項：

1. 2027 年から岡山県が新たにシーリング対象となる。また、兵庫県はシーリング対象から外れる。

6) 指導医認定委員会

委員長：宮脇 剛司

委員：東 隆一、安倍 吉郎、伊東 大、高成 啓介、西本 聡

開催年月日：適宜メール委員会

主な議題：指導医の認定について

活動の概要：

1. 1年に2回の審査をメールで行った。

【第1回】4月1日～6月30日（消印有効）

申請者数 12 名、認定 12 名、不認定 0 名であった。

【第2回】10月1日～12月31日（消印有効）

申請者数 21 名、認定 21 名、不認定 0 名であった。

2. 注意事項

専門研修指導医の認定要件について、現在実施している暫定処置（専門医を1回更新していれば複数の分野指導医資格がなくとも指導医とみなす）を恒久化することとしました。つまり、専門医を1回以上更新している方は自動的に専門研修指導医（=プログラム上の指導医）とみなします。ただし、これは基幹施設もしくは連携施設に所属しているときのみ認める専門研修プログラム上の役割です。複数の分野指導医資格を取得し、形成外科領域指導医の認定を受けた方に発行する認定証は発行しません。

7) 学術委員会

委員長：関堂 充

委員：青木 昂平、大山 拓人、岡部 圭介、樫山 和也、勝部 元紀

加藤 達也、小久保健一、渋谷陽一郎、清水 雄介、成島 三長

林田 健志、日笠 壽、前田 拓、松峯 元、宮本 純平

八巻 隆、吉龍 澄子

開催年月日：

1. 2025 年 7 月 9 日（学術委員会 zoom）

2. 2025 年 9 月 29 日（学術委員会 zoom） その他、適宜メール委員会を

行った

活動の概要：

1. 2025年4月16日、春季学術講習会のe-learning配信を「先天異常」をテーマとして開始した。
 - (1)「唇裂・口蓋裂」 彦坂 信（国立成育医療研究センター 形成外科）
 - (2)「耳介の先天異常」 小山 明彦（福島県立医科大学 形成外科）
 - (3)「体幹の先天異常」 野口 昌彦（長野県立こども病院 形成外科）
 - (4)「手足の先天異常」 小野 真平（日本医科大学病院 形成外科）
2. 2025年10月16日、秋季学術講習会のe-learning配信を「専門医取得のための知識」をテーマとして開始した。
 - (1)「写真撮影の基本・書類作成のポイント」
東京大学 形成外科 岡崎睦
 - (2)「専門医取得のための個人情報管理と医療安全」
岩手医科大学 形成外科 櫻庭実
 - (3)「専門医のための正しい保険診療の考え方」
筑波大学 形成外科 関堂 充
 - (4)「専門医取得のためのレーザーの基礎知識と適応」
大城クリニック 大城 貴史
3. 形成外科学会として専門医教育のためにLMS（Learning Management System）を利用するにあたり、LMS委員会で過去の学術講習会の査読を個人情報、著作権の観点から行い講演者に修正を依頼した。修正は終了し、LMSとして公開予定である。また講演者に確認問題の作成依頼を行った。
4. LMSに関して2026年第69回日本形成学会総会・学術集会にて委員会企画LMS(Learning Management system)を用いた教育システムの実施を予定している。演者名と演題は以下の通り
 - (1)加藤達也 慶応大学形成外科：形成外科医教育におけるLMSの活用
 - (2)三矢晴彦 ボウ・ネットシステムズ：日本形成外科学会のオンライン学習環境におけるシステム機能と運用
 - (3)植田政嗣 畿央大学健康科学部：細胞診従事者教育におけるオンライン学習システム
5. 2025年度学術奨励賞は、日形会誌およびJPRS以外の、2025年1月号から12月号までの邦文または英文の医学雑誌に掲載済みの論文を募集した。計16編(基礎部門3編、臨床部門7編、若手部門6編)の応募があり、候補論文(基礎部門2編、臨床部門3編、若手部門3編)を理事会に上申した。
6. 2026年4月22日、春季学術講習会のe-learning配信を「美容」をテーマとして開始予定である。内容、講師は下記のとおりである
 - (1)保険と美容の境界と適切な美容広告
青木律（グリーンウッドスキンクリニック立川）
 - (2)上眼瞼における美容外科
藤本卓也（こまちクリニック）
 - (3)下眼瞼のアンチエイジング手術
原岡剛一（大阪公立大学 美容外科）
 - (4)美容における合併症

7-i) 用語アドホック委員会

委員長：副島 一孝

担当理事：松田 健

委員：飯田 拓也、檜村 勉、小室 明人、清家 志円、彦坂 信
堀 圭二郎、松崎 恭一、身原 弘哉

開催年月日：適宜メール委員会開催(7回開催)

主な議題：形成外科用語集第5版を改訂し、第6版を作成する。

活動の概要：2009年に発刊され17年経過した形成外科用語集第5版のアップデートを下記のように行っている。

1. 削除用語の検討：2025年度に下記の作業を行った。

①日本医学会用語委員会「不適切語を含む医学用語のワーキンググループ」の下記の削除基準に準じて本用語集の削除用語候補を抽出した。

- 1) 「奇形」を含む用語
- 2) 差別や侮辱の意を含む用語
- 3) 動物の名称を含む用語
- 4) 歴史上または小説の登場人物の名称を含む用語
- 5) それ自体に差別や侮辱の意味は無いがきつい響きのある用語
- 6) ナチスとの関わりで糾弾された医学者の名前が付いた用語
- 7) 製糸医学領域での不適切用語

AIを用いて抽出し、委員会で検証して39用語を削除候補用語とした。

ただし、日本医学会においても未だ審議中なので、本学会からの削除候補に留めた。

②形成外科用語集には不要と思われる一般名詞74用語を削除した。

(例：圧、糸、運動、栄養、液体、温湿布、原因など)

2. 新規収録用語の検討：現在～2026年度に作業予定

日形会誌およびPRSの過去5年分のabstractより形成外科用語集への新規収録用語候補の抽出

AIを用いて抽出し、委員の眼で検証する作業を行っている。

3. 会員への公開方法の検討

PDF版でHP上で公開 あるいは 冊子体の発刊

8) ガイドライン委員会

委員長：鳥山 和宏

委員：漆館 聡志、大城 貴史、小野 真平、佐武 利彦、西関 修
八木俊路朗、杠 俊介

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

主な議題：(1) 次回形成外科診療ガイドラインの改訂

(2) ガイドブックの発刊および形成外科学会ホームページでの公開

(3) 形成外科診療ガイドライン第3版(2026年版)の公開方針の審議

活動の概要：

- ・形成外科診療ガイドラインの公開方針として、
「紙媒体（書籍および電子書籍）での販売」「ホームページにおけるCQ・推奨文・一般向けサマリーの公開」「2～3年後の全文公開」の方針を委員会として提案し、日本形成外科学会、日本頭蓋顎顔面外科学会、日本創傷外科学会にて承認された。
- ・全23部門において、各統括責任者のもと改訂作業を遂行した。
- ・第43回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会において、ガイドラインシンポジウム（頭蓋（骨）早期癒合症、顔面変形〔骨切り手術〕、四肢先天異常）を実施した。
- ・第34回日本形成外科学会基礎学術集会において、ガイドラインシンポジウム（顔面外傷、腋臭症、顔面神経麻痺）を実施した。
- ・2026年総会において、ガイドラインシンポジウム（乳房再建、リンパ浮腫、唇裂・顎口蓋裂、漏斗胸・鳩胸、臍ヘルニア・臍突出）を発表予定である。
- ・総論を含め、各部門の診療ガイドライン執筆は順調に進んでおり、今後はパブリックコメントを経て編集作業を進める予定である。
- ・2025年4月に「患者さんのためのリンパ浮腫外科的治療ガイドブック」を出版し、形成外科学会ホームページ上に同ページを公開した。
また、「患者さんと家族のための乳房再建ガイドブック」におけるビデオコンテンツを現在作成中である。
- ・脳神経外科手術と機器学会、日本整容脳神経外科学会、ならびに脳神経外科感染・SSI対策ガイドライン作成委員会と合同でCQを作成し、承認された。

9-1) 日形会誌編集委員会

委員長：副島 一孝

担当理事：松田 健

委員：朝村 真一、東 隆一、荒田 順、飯田 拓也、伊東 大
 宇佐美泰徳、戎谷 昭吾、大崎 健夫、大谷 直矢、大西 文夫
 大守 誠、大山 拓人、檜村 勉、檜山 和也、楠原 廣久
 窪田 吉孝、桑原 理充、小室 明人、榊原 俊介、櫻庭 実
 佐々木 薫、高須 啓之、竹内 正樹、大安 剛裕、常川 主裕
 時岡 一幸、富田 興一、鳥谷部 莊八、塗 隆志、林 利彦
 林 稔、樋口 慎一、堀 圭二郎、松峯 元、宮本 純平
 森 秀樹、森岡 康祐、守永 圭吾、安永 能周、山本 直人

開催年月日：2025/10/17（基礎学術集会）、2025/7/18、2025/10/29、2025/12/18、
 2026/1/28（メール委員会）

活動の概要：

1. 投稿論文進捗状況 2025年1月1日～2025年12月31日

- | | |
|---------|--|
| 1. 投稿数 | 80 篇（原著 14、症例報告 62、二次出版 1、投書 1、手紙 1、海外留学記 1） |
| 2. 掲載決定 | 49 篇（原著 11、症例報告 34、二次出版 1、投書 1、手紙 1、海外留学記 1） |
| 3. 進行中 | 19 篇（原著 1、症例報告 18） |
| 4. 待機中 | 4 篇（原著 2、症例報告 2） |

5. 却下 2 篇 (症例報告 2)
6. 取り下げ 7 篇 (査読中 - 症例報告 2、査読前不備修正 - 症例報告 4、その他 1)
45 巻 1 号～12 号 (2025 年) 掲載数 1～6 月 33 篇、7～12 月 30 篇、計 63 篇
2. オンラインジャーナル公開状況 (2025 年 12 月 31 日現在)
2025 年 1 月～2025 年 12 月公開分
公開号 : 44 巻 12 号 (2025/1/5 公開) ～45 巻 11 号 (2025/12/5 公開)
公開数 : 84 篇 (論文 63、学会抄録 16、特集 2、追悼 3)
アクセス件数 (集計対象期間 2025/1/1～2025/12/31)
45 巻 1 号～45 巻 11 号 : 書誌事項 16,036 件、全文 PDF 3,568 件
(43 巻 1 号～45 巻 11 号 : 書誌事項 53,842 件、全文 PDF 35,199 件)
3. 総会および基礎学術集会の座長推薦依頼と推薦演題への投稿案内
第 68 回総会、第 34 回基礎学術集会の一般演題の座長に演題の推薦を依頼し、推薦演題の発表者へ投稿案内を行った。
4. 専門医試験関連記事の掲載
専門医認定委員会と専門医試験問題作成委員会にご協力いただき、例年どおり 45 巻 5 号の特集に 2024 年度第 47 回専門医試験の総評と試験問題の解説を掲載した。
5. 2025 年度日本形成外科学会会誌優秀論文賞候補論文選考状況
日形会誌 45 巻 1～12 号掲載の総説、原著、二次出版 14 篇のなかから、投票により以下の 2 篇を候補論文として選出した。
投票率 95% : 40 名中 38 名投票 (委員長、担当理事を除く)
(原著) 堀 圭二郎, ほか (東京女子医科大学附属足立医療センター形成外科) : 乳幼児における異所性蒙古斑の色調変化 : 分光測色計を用いた定量的評価. 45 (11) : 531～535, 2025.
(原著) 鳥谷部 荘八, ほか (国立病院機構仙台医療センター形成外科) : 当科における絞扼耳の診断・治療方針. 45 (4) : 135～143, 2025.
6. 2025 年度日本形成外科学会会誌優秀症例報告賞候補論文選考状況
日形会誌 45 巻 1～12 号掲載の症例報告 48 篇のなかから、投票により以下の 2 篇を候補論文として選出した。
投票率 92.5% : 40 名中 37 名投票 (委員長、担当理事を除く)
(症例報告) 李 海秀, ほか (東京大学医学部附属病院形成外科) : 小児上腕骨悪性腫瘍に対して遊離腓骨皮弁による再建を行った 3 例の長期成績の検討. 45 (2) : 49～55, 2025.
(症例報告) 大塚 静香, ほか (静岡赤十字病院形成外科) : Wrap around flap と Dorsal pedis flap の連合皮弁で再建した上肢動静脈奇形の 1 例. 45 (12) : 624～630, 2025.
7. 投稿規程の整備
 - (1) AI を用いた論文に関する投稿規定 [追加]
投稿規程「9. 著作権」の次に下記を追記することを決定した。

10. 生成 AI および AI 支援技術使用に関する規定 <ol style="list-style-type: none">(1) 生成 AI は著者・共著者にはなれない。(2) 著者は原稿執筆に際して生成 AI および AI 支援技術を使用した場合には、論文の末尾 (引用文献の前) に「執筆過程における生成 AI および AI 支援技術の申告」と題するセクションを設け、使用した AI ツールの名称・バージョン・製造元と使用した目的を開示し、どの部分に使用したか明記する。ただし、文書校正など単純な校閲支援ツ

ールとしての使用は該当しない。

(3) 生成 AI で検索・作成・改変・合成した画像を用いてはならない。

(4) 生成 AI で統計処理を行ってはならない。

(6) 生成 AI または AI 支援技術の利用によって生じた内容についてのすべての責任は著者が負う。

(2) 動画付き論文に関する投稿規程 [追加]

動画付き論文投稿の受付、および投稿規程「7. 原稿の構成」に次の内容を追記することを決定した。

●動画ファイル：mp4, avi, mpg, mov, wmv

*mp4 を推奨し、映像コーデックは H.264 で作成する。

*MPEG-4 は J-STAGE サポート対象外

動画ファイルは 1 ファイル 50MB までとし、3 ファイルまで掲載できる。

*動画の修正、形式の変換などについては著者が行う。

*掲載決定後、動画に学会の著作権を挿入する。

8. 動画付き論文の投稿受付

動画付き論文投稿の受付と投稿・公開・冊子からの誘導の各方法について以下のとおり決定した。

(1) 動画アップロード機能を投稿システムに追加

(2) 不正利用防止のため掲載決定後の動画に著作権として編集事務局で「JSPRS」の文字を挿入し、J-STAGE の電子付録として公開

(3) 冊子体に掲載の動画付き論文には J-STAGE の当該論文 DOI の QR コードを記載してリンクさせる (J-STAGE 公開後に機能する形)

9. 第 35 回基礎学術集会中の委員会企画の検討

(1) 2026 年 12 月の第 35 回基礎学術集会中の委員会企画において、下記の企画を行う予定。

座長：松田健 (担当理事)、副島一孝 (委員長)

演者：副島一孝、櫻庭実、松峯元

講演内容

i) 編集者目線の査読、日形会誌の査読のしくみとポリシー

ii) 査読者目線の査読、回答に期待すること、指導的査読など

iii) 投稿者目線の査読、掲載のための査読対策

(2) 2027 年の第 70 回総会・学術集会中の委員会企画への参加および内容について検討の予定。

9-2) Journal of Plastic and Reconstructive Surgery 編集委員会

委員長：多久嶋亮彦

担当理事：小川 玲

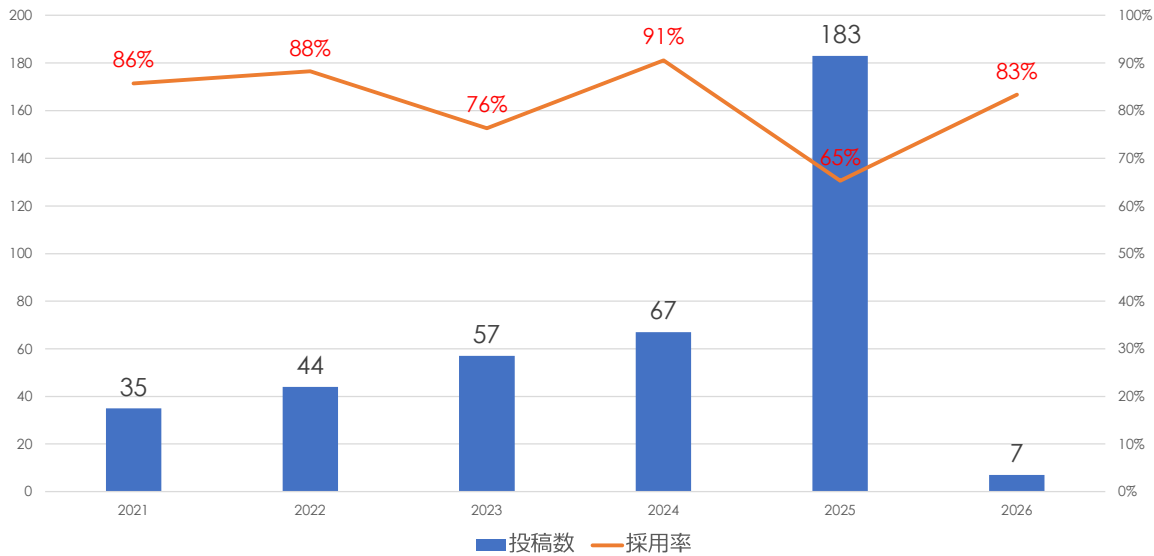
委員：朝村 真一、安倍 吉郎、荒田 順、荒牧 典子、上村 哲司
内田 達也、大浦 紀彦、大城 貴史、太田 智之、大谷 直矢
大塚 尚治、岡部 圭介、尾崎 峰、覚道奈津子、加藤 久和
門田 英輝、河合建一郎、北口 陽平、久保 盾貴、窪田 吉孝
権太 浩一、齊藤 晋、榊原 俊介、佐藤 智也、清水 史明

白石 知大、副島 一孝、素輪 善弘、高成 啓介、田中 一郎
田中 里佳、津下 到、土佐 泰祥、富田 興一、鳥山 和宏
成田 圭吾、沼尻 敏明、塗 隆志、橋川 和信、林 明照
福田 憲翁、藤原 敏宏、古川 洋志、堀 圭二郎、本多 孝之
前田 大介、松崎 恭一、松末 武雄、水野 博司、三川 信之
宮本 慎平、森 秀樹、森本 尚樹、八木俊路朗、安永 能周
八巻 隆、山下 修二、山田 潔、山本 匠、吉村浩太郎

活動の概要：

開催年月日：Zoom 編集委員会 ①令和 8（2026）年 1 月 27 日

JPRSの投稿数・採用率の推移



- 投稿数はPMCに掲載された2025年、前年の2.7倍に急増
- 2024年まで高かった採用率は、2025年の投稿数増加により減少

投稿数増加に伴う対応

1. 発行回数の変更

投稿数の増加に伴い掲載数も増加しているため、2025年まで年4回であった発行回数を、2026年より**年6回**といたしました。

2. Article Processing Charge (APC) の導入

現在は無料で投稿・掲載が可能ですが、今後APCの導入による収支改善を検討いたします。同時に採用率についても引き下げの方向で調整し、掲載数を絞っていく予定です。

【参考】APC：他誌状況調査結果

■ 同領域国際誌のAPC金額

\$1=¥150 €1=¥180

ジャーナル名	APC料金（日本円換算）	Original	出版モデル	JIF	出版社	割引
Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery	¥298,500		OA	0.9	MJS Publishing	会員割引あり（50%）
Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgery	¥373,500		OA	2.8	Springer	会員割引あり
Plastic and Reconstructive Surgery – Global Open	¥414,750		OA	1.8	Lippincott	
Burns	¥478,500		Hybrid	2.9	Elsevier	
Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery	¥520,500		Hybrid	2.4	Elsevier	会員割引あり（10%）
Journal of Reconstructive Microsurgery	¥543,000		Hybrid	2.3	Thieme	特定地域の著者割引あり
Microsurgery	¥567,000		Hybrid	1.7	Wiley	
Plastic and Reconstructive Surgery	¥599,550		Hybrid	4.7	Lippincott	
European Journal of Plastic Surgery	¥628,500		Hybrid	0.8	Springer	
Annals of Plastic Surgery	¥645,000		Hybrid	1.6	Lippincott	

300,000～650,000円が多い ▶ 他誌よりは低めの金額に設定することで、投稿モチベーションに寄与

【参考】APC：収支シミュレーション

■ パターン① 採択率を80%とした場合

投稿数：200

年度内掲載数：120（会員90、非会員30）

例	APC設定		APC収入			年間運用費	収支
	基本料金	会員向け	非会員	会員	小計		
1-1	¥150,000	¥30,000	¥4,500,000	¥2,700,000	¥7,200,000	¥27,698,794	¥-20,498,794
1-2	¥150,000	¥50,000	¥4,500,000	¥4,500,000	¥9,000,000	¥27,698,794	¥-18,698,794
2-1	¥250,000	¥30,000	¥7,500,000	¥2,700,000	¥10,200,000	¥27,698,794	¥-17,498,794
2-2	¥250,000	¥50,000	¥7,500,000	¥4,500,000	¥12,000,000	¥27,698,794	¥-15,698,794
2-3	¥250,000	¥100,000	¥7,500,000	¥9,000,000	¥16,500,000	¥27,698,794	¥-11,198,794
3-1	¥300,000	¥50,000	¥9,000,000	¥4,500,000	¥13,500,000	¥27,698,794	¥-14,198,794
3-2	¥300,000	¥100,000	¥9,000,000	¥9,000,000	¥18,000,000	¥27,698,794	¥-9,698,794

【参考】APC：収支シミュレーション

■パターン② 採択率を60%とした場合

投稿数：200

年度内掲載数：100（会員75、非会員25）

例	APC設定		APC収入			年間運用費	収支
	基本料金	会員向け	非会員	会員	小計		
1-1	¥150,000	¥30,000	¥3,750,000	¥2,250,000	¥6,000,000	¥24,469,194	¥-18,469,194
1-2	¥150,000	¥50,000	¥3,750,000	¥3,750,000	¥7,500,000	¥24,469,194	¥-16,969,194
2-1	¥250,000	¥30,000	¥6,250,000	¥2,250,000	¥8,500,000	¥24,469,194	¥-15,969,194
2-2	¥250,000	¥50,000	¥6,250,000	¥3,750,000	¥10,000,000	¥24,469,194	¥-14,469,194
2-3	¥250,000	¥100,000	¥6,250,000	¥7,500,000	¥13,750,000	¥24,469,194	¥-10,719,194
3-1	¥300,000	¥50,000	¥7,500,000	¥3,750,000	¥11,250,000	¥27,698,794	¥-16,448,794
3-2	¥300,000	¥100,000	¥7,500,000	¥7,500,000	¥15,000,000	¥27,698,794	¥-12,698,794

令和7年度優秀論文賞受賞論文

Original Research						
	Vol and Issue	Article URL	Manuscript Type	Manuscript Title	Author Name	Author Institution
最優秀論文賞	4-1	https://www.jstage.jst.go.jp/article/jprs/4/1/4_2023-0052/article-char/en	Original Research	A Clinicopathological study of 24 cases of DFSP	Kachi, Miyako	Saitama Cancer Center
優秀論文賞	4-4	https://www.jstage.jst.go.jp/article/jprs/4/4/4_2024-0060/article-char/en	Original Research	Unveiling the Learning Curve of Fibular Flap Lateral Approach Elevation: A Solo Surgeon's Journey	Sotsuka, Yohei	Hyogo Medical University

Case Report						
	Vol and Issue	Article URL	Manuscript Type	Manuscript Title	Author Name	Author Institution
最優秀症例報告賞	4-2	https://www.jstage.jst.go.jp/article/jprs/4/2/4_2024-0006/article-char/en	Case Report	Pre-fabricated thigh flaps for total thoracic esophageal defects after failed jejunum grafting in esophageal cancer surgery	Mochizuki, Yasushi	St. Marianna University School of Medicine
優秀症例報告賞	4-1	https://www.jstage.jst.go.jp/article/jprs/4/1/4_2024-0008/article-char/en	Case Report	Six cases of the medial sural artery perforator flap	KUWABARA, KAORU	Matsue Red Cross Hospital

10) 渉外・広報委員会 活動報告

委員長：元村 尚嗣

委員：赤石 諭史、石川 耕資、漆館 聡志、大西 文夫、小山 明彦
清水 雄介、高木 信介、永松 将吾、林田 健志、原岡 剛一
松本 洋、森岡 康祐、諸富 公昭、矢野 智之

開催年月日：メール委員会による審議を適宜行った。

活動の概要：

1. 日本形成外科学会の HP の SEO 対策について、専門業者（株式会社エクスクリエ）を交えてミーティングを行い、2026 年 3 月から契約更新することとなった。
2. 今後の HP の SEO 対策および SNS 運用について検討していくこととなった。
3. マスコミやテレビ局、Youtube などの放送内容に関する質問や監修依頼に対応した。
4. バナー広告、HP リンクの掲載適否判断
5. 学会誌の Newsletter への掲載適否判断

10-i) 形成外科キャンペーンワーキンググループ

委員長：元村 尚嗣

委員：赤石 諭史、安倍 吉郎、井上 義一、漆館 聡志、奥本 隆行
小山 明彦、小林 尚史、塩沢 啓、清水 雄介、高木 誠司
手塚 崇文、鳥谷部 荘八、中川 雅裕、福田 憲翁、松井 瑞子
諸富 公昭、安村 恒央

活動報告：

① 形成外科セミナー「We are Plastic Surgeons II」の開催について

2025 年 8 月 23 日、宮城県仙台市「エルパーク仙台」において開催した。

アツヴィ合同会社と共催、講師の交通・宿泊費、謝金の協賛及び会場設営・運営についての人的・物的協賛を頂いた。

講師 10 名は東北地方で活躍する形成外科医師を中心にお願いした。

講師：弘前大学 漆館聡志 東北大学 佐藤顕光 秋田赤十字病院 渡邊理子 岩手医科大学 桜庭実 東北医科薬科大学 館一史 よだ形成外科クリニック 依田拓之 仙台医療センター 鳥谷部 荘八 山形大学 福田憲翁 おやま形成外科 美容外科 小山良子 琉球大学 清水雄介

会場スタッフ：帝京大学ちば総合医療センター 小林尚史(座長兼) 東北大学 齊藤大和 東北大学 今井俊介 琉球大学 渡瀬由麻 奈良県立医科大学 中野秀雪

126 名の応募があり参加者の選定方法は募集開始 1 週間までは先着順 (48 名)、それ以降 6 月 30 日までの応募者から 42 名を抽選で選定した。12 名のオブザーバー参加申し込みがあった。最終的な当日参加予定者は 99 名、うち 9 名の直前・当日キャンセルがあり、90 名の出席となった。交通費支給対象の参加者は 74 名であった。参加者の内訳は学生 10 名 初期臨床研修医 1 年 33 名、2 年目 46 名、その他 1 名であった。

② アンケート結果の考察

1. 参加者は学生が 10%と昨年より減少した。昨年は半数が学生であり、レジナビに参加したこと、参加人数を拡大したこと影響したか。

2. セミナーに応募した経緯について、他者からの紹介(形成外科学会員?)が多く、学会内でセミナーの認知度がある程度高くなっていることが予想される。
 3. 講演個々ではなく、全体を通してキャリア形成、医師像についてコメントされているものが多く、講演の基調をしっかりと表現できていたと評価する。
 4. 昨年同様、形成外科以外では外科、救急科が志向されている。今年はそれと同等に整形外科、皮膚科、産婦人科が上がった。
 5. サブスペシャリティについて、興味のある分野として再建・マイクロが突出していた他にはほぼ均等であった。
 6. 昨年より満足度が向上した。
- ③皮弁・縫合実習「縫合キャラバン」の開催について
形成外科セミナーの翌日 2025 年 8 月 24 日、「TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口」で開催した。
ジョンソンアンドジョンソン社と共催、縫合資材の提供、講師・スタッフの招聘費用を協賛いただいた。
30 名の募集に対し 43 名の応募があり、7 月 1 日に募集を終了した。
会場のレイアウト変更および共催者からの追加資材が無償で可能であったことから、応募者全員を招待することとした。
当日出席者は 32 名であった。
実習の内容は、講義と皮膚モデルを用いた縫合練習を 1 時間 30 分、豚皮を用いた皮弁の実習を 1 時間予定していたが、延長希望が多く、皮弁実習を 30 分延長し 3 時間とした。
- ④形成外科講師派遣事業の進捗について
講師派遣事業の要綱を策定し、理事会で承認を得た。
7 月 8 日に会告メールおよびホームページ上での告知を開始した。
個人的に多方面への宣伝を行なっているが、現時点での講演依頼はない。
学校保健会の担当者と面談を行い、周知を依頼したがほぼ全ての広告で費用が発生する。費用対効果は不明であり、検討が必要。

活動の現況報告：

- ①形成外科セミナー
開催日時を 2026 年 8 月 22 日(土)と決定した。
開催地を福岡、会場を明治安田ホール福岡と決定した。
共催社について、アッヴィ社から内諾をいただき、手続き中である。
講師については現在選定中であり、決定次第ポスター作成を行い、引き続いて参加者募集を開始する。
- ②皮弁縫合実習
開催日時を 2026 年 8 月 23 日(日)と決定した。
共催社について、ジョンソン・エンド・ジョンソン社に交渉中である。
- ③講師派遣事業
昨年に引き続いてホームページ上での案内に留まっており、応募がない。広報方法について検討中である。

1 1) 国際委員会

委員長：小川 令

委員：秋田 新介、浅野 裕子、小野 真平、河野 太郎、関 征央
素輪 善弘、田中 里佳、藤井 美樹、水野 博司、森 弘樹
矢野 智之、吉村浩太郎

主な議題：

1. 2025年基礎学術集会における International Session 企画の件
2. 2026 総会・学術集会における International Session 企画の件
3. PSTM 2025 (ASPS) in New Orleans 参加報告掲載の件
4. PSTM 2026 (ASPS) in Houston の発表者選定の件
5. TSPS Meeting の演者選定の件
6. 8th APRAS Educational Webinar の件
7. モンゴル・インドとの連携の件

活動の概要：

1. 委員会が企画する国際セッション関連費は、総会 400 万、基礎学術集会 200 万であるが、2025 年 10 月の基礎学術集会では、国際プログラムは韓国から 2 名、台湾から 2 名、日本人 4 名の 8 名によるセッションが行われ、謝金が支払われた。
2. 2026 年 4 月の総会・学術集会では、国際セッションを 10 コマ企画した。
3. Plastic Surgery The Meeting 2025 (ASPS) in New Orleans に参加し、報告書執筆をご承諾いただいた 6 名の参加報告を日形会 Website に掲載した。
4. Plastic Surgery The Meeting 2026 (ASPS) in Houston への演題推薦（口演 1 件、ポスター 10 件）を応募のあった 17 演題から選出し、口演 1 件、ポスター 10 件、不採択 6 件となった。理事会の承認を得て、本人に通知した。選出されなかった演題に関しては、学会への通常の演題投稿を勧めた。実際に出席された後は、参加報告を web に掲載する予定である。
5. TSPS の講演者 2 名を選定した。
6. 2025 年の 1 月 10 日に 8th APRAS Educational Webinar が開催された。顔面神経麻痺がトピックスであり、国際委員会で選出された林礼人先生が講師として参加された。
7. モンゴル・インド形成外科学会から、MOU 締結の依頼があったが、まずはお互いの学会に 1-2 名の講演者を招待し、継続できたら MOU を締結する旨、理事会で決定した。

1 2) 社会保険委員会

委員長：島田 賢一

担当理事：上村 哲司

委員：赤石 諭史、飯田 拓也、石川 耕資、大浦 紀彦、大城 貴史
大槻 祐喜、荻野 浩希、尾崎 峰、垣淵 正男、加藤 久和
小室 明人、佐武 利彦、清家 志円、高木 信介、津下 到
常川 主裕、土佐 泰祥、鳥山 和宏、沼尻 敏明、塗 隆志
野村 正、福田 憲翁、本多 孝之、身原 弘哉、八木俊路朗
渡辺あずさ

顧問：金子 剛、関堂 充

開催年月日：2025年10月17日，場所：ライカ南国ホール（鹿児島）

適宜 e-mail 委員会

活動の概要：

1. 令和8年診療報酬改定

2025年5月に厚労省に要望書を提出した（以下，新設および改正）。

新設

1. 静脈奇形硬化療法：IVR学会、日本静脈学会と共同提出(記載は日本形成外科学会)
2. 人工乳房抜去
3. 乳房再建術・一次的に行うもの（内視鏡下）JOPBSと共同提出(記載は日本形成外科学会)
4. 癒痕・ケロイドに対するステロイド皮内注射
5. 筋層下，骨膜下の顔面軟部組織腫瘍摘出（前額脂肪腫、dermoidなど）

改正

1. 切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算 適応拡大（K939-9）
2. 自家脂肪注入，適応拡大（Romberg病、小児先天異常など）乳房はJOPBSより提出
3. 超音波凝固切開装置等加算，適用拡大
4. ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建（乳房切除後），適応拡大（Poland症候群など）
5. 乳房切除術（性適合），増点
6. 陥没乳頭，適応拡大
7. 眼瞼内反症手術 眼瞼下制筋前転法，短期滞在手術基本料
ラパリムス錠の血中濃度測定適応拡大，上記に対して改訂要望を提出。

2026年改訂用の厚労省ヒアリングを2025年7月29日に行なった。

発表案件①：静脈奇形硬化療法。

発表案件②：顔面良性軟部腫瘍摘出（指数見直し）。

乳房関連は他学会対応。

令和8年度診療報酬改定要望結果（2026年3月時点）

新設

- ・静脈奇形硬化療法
- ・乳房再建術・一次的に行うもの（内視鏡下）
- ・乳房皮膚延長術（内視鏡下）

改正

- ・自家脂肪注入の適応拡大（Romberg 剣状強皮症など先天性）
 - ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建（乳房切除後）適応拡大 Poland など先天性
 - ・難治性脈管腫瘍および難治性脈管奇形に対するシロリムスの特定薬剤治療管理料の適応拡大
2. 外科系学会保険委員会連合（外保連）関連
厚生労働省より医療技術評価報告書（再評価）提出の要望があり慢性膿皮症手術のガイドライン European S2k guidelines for hidradenitis suppurativa を追加した。
 3. 日本医師会疑義解釈委員会・保険適用検討委員会（金子剛委員長）関連
疑義解釈委員会では製造販売業者からの医薬品・医療機器の供給停止を審議した。
 4. モノエタノールアミンオレイン酸塩（オルダミン）を用いた静脈奇形に対する硬化療法の保険収載に関して

- ・硬化療法保険収載を進めるため、社保委員会内に小委員会を設置した（委員長：杏林大学 尾崎峰）。第34回日本形成外科学会基礎学術集会（鹿児島）において、社会保険委員会企画として静脈奇形硬化療法に関する研修プログラムを行なった。

静脈奇形硬化療法 座長：尾崎 峰（杏林大学 形成外科）

- 1) 新規手技「静脈奇形硬化療法」の保険収載 杏林大学 形成外科 尾崎 峰
- 2) 静脈奇形とは 聖マリアンナ医科大学 放射線科 三村 秀文
- 3) 硬化療法の歴史、種類 お茶の水血管外科クリニック 血管外科 広川 雅之
- 4) オルダミン硬化療法の実際Ⅰ（薬剤の特徴と注入手技）
神戸大学大学院医学研究科 形成外科学 野村 正
- 5) オルダミン硬化療法の実際Ⅱ（DSA 画像評価と注入量）
大阪医科薬科大学 放射線科 大須賀慶悟
- 6) 硬化療法における合併症、注意点 信州大学医学部 形成再建外科 杠 俊介
- 7) 静脈奇形硬化療法における FAQ 杏林大学 形成外科 尾崎 峰

本プログラムを基に「静脈奇形硬化療法 e-learning」を作成していく。

令和8年度診療報酬改定において、「静脈奇形硬化療法」が新たに保険収載された。

5. 遊離空腸移植術の診療報酬算定に関する地域差の調査について

上記調査を津下到委員（京都大学形成外科）を中心に行った。今後調査結果をもとに統一化を模索していく。

6. 機器・医療材料の供給問題

- ・ TruMatch (J&J) : 撤退方針→販売延長に成功。
- ・ 顔面用プレート：価格下落による採算割れ→学会から要望書を9月に提出（グンゼ、ストライカー、シンセス）。
- ・ ケロイド治療材（エクラープラスター）：採算難。OTC化難航中。不採算品再算定要望書を厚労省に提出。
- ・ 日本医師会疑義解釈委員会からの供給停止予定品目の確認。

7. 脂肪組織分離キット（セルーション・セルセラピーキット SUI）を用いた男性腹圧性尿失禁治療について

脂肪組織分離キット（セルーション・セルセラピーキット SUI）を用いた男性腹圧性尿失禁治療に関する適正使用指診（案）、患者説明書例（案）を社保委員会で検討した。修正の上、2025年3月10日に日形会として承認した。

今後、泌尿器科医師の日形会特別セミナーの受講を必須とし、形成外科医と泌尿器科医が共通の基盤で患者治療にあたる。日形会の動画プラットフォームの自家脂肪注入特別セミナーに尿失禁治療の項目を追加し、泌尿器科医師の受講と証明書発行についての調整をすすめる。本治療に対する「脂肪組織吸引」のビデオを今後委員会で検討予定。

8. その他

- ・ 「シルクエラスチン創傷用シート」適正使用指針を作成、理事会承認を経て5月に発出した。
- ・ リンパ浮腫ネットワーク JPN の要望書に連名賛同。
- ・ 診療報酬に対する問い合わせに対して、委員会で検討回答した。

9. 広報活動

①特別セミナー：自家脂肪注入術特別セミナー

2022年4月よりwebで受講可能。

②社保委員会企画セミナー 2025年4月18日（木） 東京

司会：島田賢一，上村哲司担当理事

演題：令和8年度診療報酬改定要望の解説

関堂 充（筑波大学病院 形成外科）

形成外科診療における保険と自費診療の境界と対応

青木律（グリーンウッドスキンクリニック立川 形成外科）

保険診療と美容診療の境界について

—社会保険診療報酬支払基金兵庫県支部での経験—

垣淵正男（兵庫医科大学 形成外科）

1 3) 倫理委員会

委員長：森本 尚樹

委員：大浦 紀彦、河合建一郎、小宮 貴子、田邊 毅、野口 昌彦、
松崎 恭一

開催年月日：第一回倫理委員会（web会議、2026年1月6日）

主な議題：

1. 利益相反報告のweb申告化について

活動の概要：

1. 利益相反のweb申告化について議論を行った。システム改修費用を計上し、web申告をする方針となった。また、利益相反申告書の開示範囲についても議論を行った。

1 3-i) 遺伝性疾患関連ワーキンググループ

委員長：杠 俊介

委員：小林 眞司、田邊 毅、土佐 泰祥、野口 昌彦、安永 能周

外部委員：高木紀美代

活動の概要：

「PGT-Mに関する日本産科婦人科学会からの要望について」（日本医学会からの報告）

1 4) 制度検討委員会

委員長：松村 一

委員：朝村 真一、檜山 和也、久保 盾貴、清家 志円

大安 剛裕、望月 靖史

活動の概要：

①専門医認定委員会の委員数の変更にもなう専門医認定細則の変更に関して

(1) 委員の人数に関する変更

委員総数が18→27名に変更（第2条第1項）

選挙で選ばれる委員が10→15名に変更（第2条第3項）

理事長指名委員が8→12名に変更（第2条第3項）

- (2) 選任時に評議員資格を有すること、及び、選任年度の3月31日の時点で64歳未満であることの明文化（第2条第2項）
- (3) 選挙方法の明文化（第2条第3項）
全評議員による5名連記投票であることの記載

②定款の誤記訂正に関する報告

- (1) 令和6年4月9日に定款変更を行った際、第6条第10項において、引用すべき項番号の訂正が漏れていたことが判明した。当該箇所は、項番号の繰り下がりに伴う引用番号の誤記であり、条文の趣旨および内容に変更はない。

(誤)

10 選挙に支障が生じるなどの理由により、第6項に定める評議員任期中に新評議員を選任できない場合、評議員の任期は新評議員の選任時まで延長されるものとする。

(正)

10 選挙に支障が生じるなどの理由により、第5項に定める評議員任期中に新評議員を選任できない場合、評議員の任期は新評議員の選任時まで延長されるものとする。

③老朽化した規約に関して

各委員会において、規定の有無や現状との整合性、修正の必要性を確認した上で、制度検討委員会にて整備を行う。

1 5) 企画調査委員会

委員長：林 礼人

担当理事：杠 俊介

委員：荻野 晶弘、小野 真平、岸邊 美幸、小久保健一、品岡 玲
高木 信介、田港見布江、成島 三長、原岡 剛一、宮内 律子
望月 靖史、諸富 公昭、力丸 英明

開催年月日：

① 2025年4月18日（現地）

② 適宜メール委員会を開催

活動の概要：

1. 将来計画委員会と合同シンポジウムにて、施行アンケートの一つである形成外科10年目までの医師が「大学医局をどう捉えているか」の結果について報告し、今後論文化する予定としている。
2. 企画したアンケート調査をGoogle formを用いて実施
前年度に施行した「9つの分野指導医の委員長・委員に対する現状・将来像調査」の結果を踏まえ、「形成外科分野指導医に対する意識調査」を会員全体に行った。得られた結果について、外部機関に依頼してデータ解析を行い、昨年行った「美容外科に対する意識」のアンケート結果と共に総会にて報告を予定している
3. 「NCD データを活用した形成外科分野の医学研究に関する公募」をデータベース委員会と合同で準備
4. 「日本形成外科学会の歩み」「形成外科医育機関の歩み」のページ更新を予定

1 6) データベース委員会

委員長：森本 尚樹

委員：赤松 正、秋田 新介、秋元 正宇、今井 啓道、勝部 元紀
坂本 道治、櫻庭 実、佐武 利彦、素輪 善弘、冨塚 陽介
塗 隆志、根本 充、羽多野隆治、宮本 慎平、

開催年月日：

第1回データベース委員会（Web会議）2025年11月17日（月）19時00分～20時00分

メール会議：多数

主な議題：

1. アニュアルレポートブラッシュアップ作業
2. NCD データを用いた多施設共同研究について
3. DB 委員会企画について

活動の概要：

1. アニュアルレポートグラフの過去データに不備があり、2021年、2022年、2023年版の確認・修正が必要である。まず、2024年次アニュアルレポートの精査、ブラッシュアップ作業を行った
2. NCD データを用いた多施設共同研究の公募準備を企画調査委員会と共同で実施した。
3. DB 委員会企画を2027年総会に向けて行う方針とした。

NCD データを活用した形成外科分野の医学研究に関する公募について

日本形成外科学会では 2017 年より学会のデータベースシステムを National Clinical Database (NCD) のデータベースシステムに移行しました。そのため、2017 年以降の入力データが整理され分析に活用可能となり、本システムを用いてデータベース委員会主導で遊離皮弁の生着に関する解析を実施、論文報告されました (Akita S, Kumamaru H, Motomura H, Mitsukawa N, Morimoto N, Sakuraba M. The volume-outcome relationship in free-flap reconstruction: A nationwide study based on the Clinical Database. J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2023 Oct;85:500-507.)

現在、形成外科分野では NCD への登録を通じて全国的な外科診療データの蓄積が進んでおりますが、データの利用がまだまだ進んでいないのが現状です。また、現状の NCD データでは必要な項目が不足していることも課題として挙げられています。これらの課題を解決し、今後、会員各位が実施する研究の目標・模範となる NCD データを用いた研究を公募いたします。公募に当たっては下記の観点から選考させていただきます。

- 形成外科領域に特化した詳細な情報 (例: 術式の詳細、手術時間、出血量、周術期合併症、再手術の有無、長期成績、入院期間など) を利用した研究であること
- 形成外科領域での新たなエビデンスを構築するためのレジストリー研究 (実臨床で蓄積した大規模データベースを用いた観察研究) であること
- 保険収載に繋がる研究であること
- ガイドライン収載に繋がる研究であること

採択課題は 3 件程度を想定していますが、最終的にはデータベース委員会、企画調査委員会で審議し、形成外科学会理事会で採択を決定させていただきます。

今回、公募する研究種目は次のとおりです。

① 過去のデータを利用した研究 (後向き研究)

すでに NCD に登録されているデータを利用して行う研究です。今回募集する研究課題では、2017 年から 2025 年までのデータが対象となります。

② データ追加型研究 (前向き研究)

現在の NCD 登録項目に新規項目を追加して、新たなデータを収集して研究を行うことができます。新規追加項目へデータを入力するのは、あらかじめ登録された施設に限定されます。本研究種目では、NCD システムに追加項目を実装する必要があるため、研究開始 (新規追加項目への登録開始) は 2026 年 11 月 1 日以降となる見込みです。

応募が多数となった場合には、②データ追加型研究 (前向き研究) を優先します。

● 応募資格

日本形成外科学会会員各位あるいは日本形成外科学会各委員会からの提案を募集します。会員からは

一課題、ひとつの委員会から応募できる課題数に制限はなく、課題の内容についても規定はありません。形成外科学会各委員会からの提案の場合は、1名の代表者と研究分担者（複数でも可）を指定してください。代表者は委員長である必要はありませんが、必ず委員長の承諾を得てください。1つの委員会から複数の応募がある場合は、その委員会の責任において優先順位をつけてください。データ項目は、NCD ホームページ 内に掲載している形成外科の CRF (Case Report Form) にて確認可能です
URL: CRF_keisei_v2.00 (ncd.or.jp)。

- 応募方法

別添の「日本形成外科学会 NCD データを活用した研究課題申請書」及び「代表者及び委員長の承諾書」に必要事項を記入し、応募期間内に各ファイルをメールにて提出してください（下表参照）。

提出書類

- ✓ 「日本形成外科学会 NCD データを活用した研究課題申請書」 1 通
- ✓ 「代表者及び委員長の承諾書」 1 通

- 提出先

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル
一般社団法人日本形成外科学会 データベース委員会 宛
E-mail: jsprs-office01@shunkosha.com

- 応募期間

2026年5月1日から2026年6月30日（火曜日）17時必着

- 研究課題の選定

(1) 審査方法

締切後3ヶ月以内にデータベース委員会にてデータ利用の許諾や協力可能について審議し、NCDと協議を経て、最終的に理事会にて採択の可否が決定されます。なお、選考の経過については通知しません。また、お問い合わせにも応じられません。研究課題の選定に係る評価は、提出された申請書に基づいて行いますが、必要に応じて追加資料の提出を求める場合や、申請内容に関してヒアリング等を行うことがあります。

(2) 審査結果の通知

採択・不採択の結果は、2026年8月下旬頃、委員長、代表者宛に通知します。選考理由については公表いたしません。

- 研究経費

本研究にかかる経費は日本形成外科学会から1研究につき最大300万円までの研究費用を負担いたします。日本形成外科学会からの支出には限度額が設定されるため、その範囲を超えた金額については研究者側で別途研究費の確保をお願いします。

データ追加型研究の場合は、項目実装に関してシステム構築をNCDに業務委託

（有料）する必要があります。解析費用は【1課題あたり150万円から300万円前後】が目安となりますが、研究の内容によって変動し高額となる可能性があります。また、データ追加型研究におけるシステム構築費用は、追加する項目の仕様によって変動します（下記参照）。なお、上記の費用は学術

団体向けの特別な金額のため、一般企業との研究では数倍の費用が見込まれております。

参考：特定の術式を選択した際に 10 項目程度を追加する場合 【50 万円から 60 万円前後】

- 応募に当たっての注意事項

- A. 応募に関して

(1) 研究課題は、各委員会にて十分な審議を経たうえで、ご応募願います。

提出された申請書を受領した時点で、研究代表者へメールにて受領のお知らせをお送りいたします。提出後、受領のお知らせメールを確認できない場合は、日本形成外科学会事務局までお問い合わせください。

(2) 応募された申請書は返却いたしません。

(3) 採用された場合、当該申請学会または研究代表者の所属施設の倫理委員会の承諾を受けること（承認書類（写）を事務局宛にお送りください（メール添付可））。

(4) 研究成果の発表、論文化、特許申請など、研究成果の取扱いについては、日本形成外科学会、NCD と別途協議を行います。

(5) 研究を論文化する際の Authorship の構成、著者順などについては、日本形成外科学会、NCD との協議を行う必要があります。原則、NCD との研究のキックオフ会議時に Authorship に関する協議を行えるように準備をお願いいたします。

※研究デザイン・方法については、仮説を元にキックオフ会議で詳細を相談させていただきます。

※Authorship の記載は、キックオフ会議への参加が原則となります。

※データは、論文化を想定した最終的な結果の形での提供となります。

- B. 採択後に関して

(1) 採択後に申請内容を変更する場合は、変更申請書を提出してください。原則、変更申請書受領後に、再度、審査いたします。変更の際は日本形成外科学会事務局までお問い合わせください。

(2) 解析の参考資料として先行論文と参考論文の提出をしてください。

(3) 研究代表者の所属機関にて倫理審査の準備、対応を進めてください。

・ 本件に関するお問い合わせ先：

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル

一般社団法人 日本形成外科学会 データベース委員会 宛

E-mail: jsprs-office01@shunkosha.com

2027年度 日本形成外科学会 NCD データ活用研究課題申請書

一般社団法人 日本形成外科学会 理事長 殿

下記のとおり研究計画を申請します。

年 月 日

研究申請者

ふりがな：

氏名：

所属機関名：

所属機関所在地：〒

Email：

所属委員会名（委員会からの応募の場合）：

代表者（委員会申請の場合）：

研究分担者（複数可）：

研究課題名

研究種目

過去データを利用した後向き研究（2017年～2025年 NCD データ）

データ追加型 前向き研究（NCD 新規項目追加後に開始）

研究目的の概略

利用する NCD データ

対象症例

対象術式（NCD 形成外科入力様式に準拠して記載）

除外基準

結果の発信方法（学会発表、論文化、その他）

Key words（3件）

研究の背景と意義

研究目的・詳細

研究の実施計画（研究の種類／観察項目／評価項目／解析方法）

備考

参考文献

2027年度 日本形成外科学会 NCD データ活用研究課題申請 承諾書

年 月 日

一般社団法人 日本形成外科学会
理事長 殿

当施設 / 当委員会に所属する下記の者が、下記課題名の研究代表者（または研究分担者）として研究を実施することを承諾します。

所属施設長 または 委員会委員長

所属名：

職名：

氏名：

署名：

申請者

氏名：

所属：

研究課題名

17) 将来計画委員会

委員長：門松 香一

委員：河合建一郎、佐々木 薫、高木 誠司、永松 将吾、西村 礼司
馬場 香子、藤井 美樹、本多 孝之、水野 博司、望月 靖史
力丸 英明

開催年月日：

①2025年4月16日（総会期間中）

②2025年6月19日～6月27日（メール委員会）

活動の概要：

1) 「医師の働き方改革」に関するC-2水準の審査に協力する。

令和7年度第3回C-2水準事前審査

審査委員会：第1回委員会 令和7年7月10日（オンライン）

第2回委員会令和8年2月10日（書面開催）

→令和8年度も引き続き協力する予定

2) 日本形成外科学会が将来にわたって発展するための、調査および提言を行う。

各種委員会、関連領域学会との情報交換や共同作業を通じて、会員、専門医、指導医の増加、形成外科医の待遇改善、会員のキャリア形成、診療および研究を支援する方策を検討する。

→継続中であり、今後も各種委員会、関連領域学会との情報交換を行い研究支援方法を模索する予定である。

3) 形成外科領域の中長期的課題に対して、実効性ある議論と政策形成を行うための審議テーマを整理し、委員会での検討する。

→実効性のある政策形成を行うために、広く情報を集め、また形成外科学会を超えて有識者との意見交換を行う予定。

18) 医療安全推進委員会

委員長：小川 令

委員：梅澤 裕己、竹内 正樹、鳥山 和宏、林 稔、松崎 恭一

主な議題：

1. 医療安全全国共同行動の、2025年度第3回社員総会の書面決議の件

2. 日本医療安全調査機構の協力学会説明会開催の件

活動の概要：

1. 医療安全全国共同行動の、2025年度第3回社員総会の書面決議を行った

2. 令和8年3月13日に開催された日本医療安全調査機構の協力学会説明会に参加した

19) 皮膚腫瘍外科分野指導医認定委員会 活動報告

担当理事：元村 尚嗣

委員長：古川 洋志

委員：安倍 吉郎、荻野 晶弘、加藤 久和、木村 中、桑原 理充
高須 啓之、田中 顕太郎、野村 正、林 礼人、林 利彦
平田 晶子、前田 拓、森 秀樹、森岡 康祐、吉龍 澄子

活動の概要：

1. 第30回教育セミナー開催

日時：2025年4月17日（木）14：50～15：50

第68回日本形成外科総会・学術集会会場 ホテルニューオータニ 芙蓉の間

司会：愛知医科大学 形成外科 古川 洋志

1) 「顔面の局所皮弁デザイン指導のススメ」

東邦大学 形成外科 荻野 晶弘先生

2) 「悪性腫瘍の術後フォローアップ：NCCNガイドラインを読み解く」

愛知医科大学 形成外科 古川 洋志

2. 委員会シンポジウム企画 「皮膚がん治療の一步先へ～あなたならどうする？」

第68回日本形成外科総会・学術集会会場 ホテルニューオータニ 芙蓉の間

総合司会 函館中央病院 木村 中先生

総合司会 大阪医療センター 吉龍澄子先生

病理コメンテーター 愛媛大学 森 秀樹先生

企画係・コメンテーター 北海道大学 前田 拓先生

1) 講師 旭川医科大学 林 利彦先生

「症例提示：涙嚢への浸潤を疑う上眼瞼脂腺癌」

2) 講師 神戸大学 野村 正先生

「顔面有棘細胞癌治療の一步先へ～あなたならどうする？」

3) 講師 東京科学大学 田中颯太郎先生

「症例提示：足関節部再発悪性黒色腫」

3. 皮膚腫瘍外科分野指導医認定審査

① 書類審査会 日時：2025年9月1日（月） 18：00～Zoom

② 口頭試問

日時：2025年10/15（水） 第34回日本形成外科学会基礎学術集会前日

13：00～14：00 委員会（会場：場所：サンプラザ天文館 3F【C-3】）

14：00～15：00 口頭試問

15：00～16：00 合否判定会議

受験者9名、1名欠席、1名不合格、合格7名

4. 第31回教育セミナー開催

日時：2025年10月16日（木）9：00～10：00

会場：ライカ南国ホール 第二会場 第34回日本形成外科学会基礎学術集会

司会：愛知医科大学 形成外科 古川 洋志

1) 「顔面皮膚悪性腫瘍の切除と局所皮弁再建」

徳島大学大学院 医歯薬学研究部形成外科学 安倍 吉郎 先生

2) 「形成外科医が行うリンパ節郭清の工夫」

山口大学 形成外科 高須 啓之先生

5. 第11回皮膚腫瘍外科分野指導医シンポジウム開催

日時：2025年10月16日（木） 10：10～11：40

会場：ライカ南国ホール 第二会場 第34回日本形成外科学会基礎学術集会

司会：横浜市立大学形成外科 林 礼人先生

セッションタイトル「皮膚悪性腫瘍診療における外科的治療のこれから」

「皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン改定を踏まえ」

- 1) 横浜市立大学形成外科 林 礼人先生
『皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン第4版改訂の現状』
- 2) 熊本大学医学部皮膚科 福島 聡先生
『悪性黒色腫』
- 3) 鹿児島医療センター皮膚腫瘍科 松下茂人先生
『乳房外パジェット病』
- 4) 市立札幌病院形成外科 七戸龍司先生
『基底細胞癌』
- 5) 神戸大学形成外科 野村 正先生
『有棘細胞癌』
- 6) 神戸大学形成外科 野村 正先生
『形成外科皮膚軟部腫瘍ガイドライン統括として』
6. 皮膚腫瘍外科分野指導医認定審査についてのご案内：「マイナー症例」と「不適切症例」について
2025年12月20日付 日形会誌 Vol145 No12 会告
7. 皮膚腫瘍外科分野指導医 更新審査
2026年3月予定

20) 小児形成外科分野指導医認定委員会

委員長：杠 俊介

委員：岡部 圭介、小山 明彦、小林 眞司、坂本 好昭、佐々木 薫、
杉本 孝之、手塚 崇文、時岡 一幸、土佐 泰祥、野口 昌彦
本多 孝之、渡辺あずさ

開催年月日：2025年9月24日（Web会議） *その他適宜メール委員会

活動の内容：

1. 2025年度小児形成外科分野指導医認定審査（第9回認定審査）

申請受付期間 2025年7月1日～7月31日

③書類審査会 一次審査 2025年8月19日～8月27日

二次審査 2025年8月27日～8月29日

申請者3名全てで書類審査合格となった。

④試験問題選定 2025年9月24日 Web会議

⑤筆記試験 2025年10月17日

第34回日本形成外科基礎学術集會会場 ライカ南国ホール(鹿児島)にて実施。

本年度書類審査合格者3名が筆記試験を受験し、3名ともに合格基準を満たし合格となった。

2. 2026年度小児形成外科分野指導医認定審査

第10回認定審査の予定は以下の通り。

①4月号で公示予定

②申請受付期間 2026年7月1日～7月31日

③筆記試験 2026年12月17日・18日のいずれか

第35回日本形成外科学会基礎学術集會（那覇）の会場にて実施予定

3. 小児形成外科分野指導医教育セミナーの開催

第15回教育セミナー

2025年4月16日(水)、14:20-15:20

講師: Department of Surgery, Northwestern University Feinberg School of Medicine/Division of Pediatric Plastic Surgery, Ann & Robert H. Lurie Children's Hospital of Chicago

山田 朗

「海外招聘講演2: My current practice of Pediatric Reconstructive Plastic Surgery in Chicago, USA」

第68回日本形成外科総会・学術集会 ホテルニューオータニ (東京)

第16回教育セミナー

2025年4月16日(水)、15:30-17:00

「シンポジウム2: 少子化だからこそ小児形成外科!」

第17回教育セミナー

2025年10月16日(木) 13:00-14:30

第34回日本形成外科基礎学術集会会場

ライカ南国ホール 第2会場

テーマ: 小児の鼻

講師: 東京慈恵会医科大学 形成外科 宮脇 剛司

演題名: 「小児の先天異常と外傷における外鼻形成の基本事項」

講師: 信州大学医学部 形成再建外科 杠 俊介

演題名: 「唇裂鼻の治療」

セミナー受講者47名(現地受講者6名、オンデマンド受講者41名)

4. 第3回小児形成外科分野指導医更新審査

1) 申請受付期間 2026年1月1日~1月31日

対象者10名の内、申請者は10名であった。

2) 審査会(メール審査) 2026年3月7日

承認10名, 留保承認0名, 再審査0名

5. 小児外科系関連学会協議会活動

(新規検査項目の検討)

・ラパリムスのTDM検査に関する保険収載要望を小児外科から提出

2 1) 再建・マイクロサージャリー分野指導医認定委員会

委員長: 中川 雅裕

担当理事: 松田 健

委員: 伊東 大、楠原 廣久、雑賀 厚臣、佐野 和史、清水 史明
田中 顕太郎、津下 到、常川 主裕、富田 祥一、鳥谷部 荘八
林 利彦、日原 正勝、八木俊路朗、安永 能周

審議事項はありません。

報告事項:

2025年度 活動内容

1. 2025年度再建・マイクロサージャリー分野指導医認定審査(第7回認定審査)

口頭試問試験 2025年11月26日(水)

場所: 有明セントラルタワーホール&カンファレンス

第52回日本マイクロサージャリー学会学術集会の前日に行った
申請者19名中 書類審査、不合格1名(研修期間の不足のため)
口頭試問18名中 18名合格

2. 教育セミナーについて

①第12回教育セミナー

2025年4月16日(水)/18日(金)

第34回日本形成外科学会総会・学術集会会場

1. 「Problem solving in Reconstructive Microsurgery」

講師: Matthew M. Hanasono 先生

2. 「From tissue reconstruction to tissue engineering」

講師: Phillip Blondeel 先生

②第13回教育セミナー

2025年10月17日(金) 9:00- 10:00

第34回日本形成外科学会基礎学術集会会場

1. 「Microsurgeryによる体表再建」

講師: 黒木 知明先生

2. 「症例に応じた再建術」

講師: 中井 國博先生

3. 第2回再建・マイクロサージャリー分野指導医更新審査

2020年度に分野指導医資格を得た指導医の更新審査を行なう

申請 2025年12月末 更新審査 2026年3月予定

2026年度 活動計画

1. 2026年度再建・マイクロサージャリー分野指導医認定審査(第8回認定審査)

口頭試問試験 2026年11月26日(水) (予定)

第53回日本マイクロサージャリー学会学術集会の前日に行う予定である

申請期間 2026年7月20日~8月末 (予定)

2. 教育セミナー

②第14回教育セミナー

2026年4月22日(水) ~24日(金)

第68回日本形成外科学会総会・学術集会(あわぎんホール) で行う予定

1. 「遊離皮弁による乳房再建 血管吻合で困ったこと」

講師: 常川 主裕先生

2. 「手指の再建 マイクロサージャリーを中心に」

講師: 楠原 廣久先生

②第15回教育セミナー

2026年12月17日(木) ~18(金)

第35回日本形成外科学基礎学術集会(那覇文化芸術劇場なは一と) で行う予定

講師: 富田 祥一先生、雑賀 厚臣先生

演題名は未定

3. 第3回再建・マイクロサージャリー分野指導医更新審査
2021年度に分野指導医資格を得た指導医の更新審査を行なう予定
申請 2026年12月末予定 更新審査 2027年3月ごろ予定

2 2) レーザー分野指導医認定委員会

委員長：河野 太郎

担当理事：覚道奈津子

委員：石川 耕資、王丸 陽光、大城 貴史、酒井 成貴、西村 礼司
日笠 壽、古川 洋志、堀 圭二郎、渡辺あずさ

開催年月日：適宜メール委員会を開催

活動の内容：

1. 教育セミナーについて

第7回教育セミナー

2025年10月17日（金）10:10～11:10

第34回日本形成外科学会基礎学術集会

（会場：ライカ南国ホール・TKP ガーデンシティ鹿児島中央）

西村礼司 先生：「レーザー基礎」

石川耕資 先生：「毛細血管奇形に対する標準的色素レーザー治療」

2. 認定審査

第5回認定審査

申請受付期間 6月1日～7月31日

筆記試験日 10月17日

第34回日本形成外科学会基礎学術集会

（会場：ライカ南国ホール・TKP ガーデンシティ鹿児島中央）

新規申請者合格：2名

3. 資格更新審査

資格更新審査を作成し、2024年5月20日に公示

資格取得年度から5年間の業績にて申請

2022年度資格取得者の場合、2022年1月1日より2026年12月31日まで

4. その他

レーザー分野指導医認定委員会企画シンポジウム

2025年4月18日（金）15:00～17:00

第67回日本形成外科学会総会・学術集会

とことんシミのレーザー治療 座長：河野 太郎、覚道奈津子

1. レーザー基礎：河野 太郎

2. シンポジスト：下条 裕、今川孝太郎、王丸 陽光、原 かや
奥 謙太郎、中田 元子

2 3) キャリア支援委員会

委員長：覚道奈津子

委員：小宮 貴子、榊原 俊介、佐々木 薫、塩沢 啓、田中 里佳
馬場 香子、平田 晶子、力丸 英明、渡辺あずさ

活動の内容：

1. キャリア支援委員会企画シンポジウムと相談会について
第 69 回日本形成外科学会・学術集会会期中
2026 年 4 月 22 日（水）16:00～18:00
会 場：第 4 会場（JR ホテルクレメント徳島 4F 「クレメントホール東」）
対 象：キャリアに悩む形成外科医、キャリア指導に悩む形成外科医
（若手医師～指導医まで）
シンポジウム終了後、相談会にて自由討議
2. キャリア支援アンケート調査
「形成外科専門医・指導医資格制度の現状と課題 アンケート調査による分析」
日本形成外科学会会誌 45(9), 415-428, 2025 掲載
「形成外科医のキャリアとライフイベントに関する多面的課題」
日本形成外科学会会誌, 2026 掲載予定
3. 形成外科医のキャリアロールモデルを紹介する HP 作成
日本形成外科学会の公式 HP 内に作成予定。
原稿は、全国の評議員の皆様を中心に、自薦・他薦によりご提供いただく予定。

2 4) プレストインプラントガイドライン管理委員会

委 員 長：森 弘樹

担 当 理 事：覚道奈津子

委 員 員：梅澤 裕己、大槻 祐喜、小宮 貴子、富田 興一、富田 祥一
永松 将吾、舟山 恵美、守永 圭吾、安永 能周

開催年月日：適宜 e-mail 委員会、web 委員会

活動の概要

1. 2025 年度の講習会は e-learning にて開催した。受講は 60 名であった。
 - ・使用要件基準（ガイドライン）の概略 森 弘樹（東京科学大学）
 - ・製品紹介・インフォームドコンセントについて アラガン・ジャパン株式会社
 - ・Sientra プレスト・インプラント 製品説明 グンゼメディカル株式会社
 - ・Motiva プレスト・インプラント 製品説明 PRSS. Japan 株式会社
 - ・外傷・先天異常に対する使用と BIA-ALCL の概略 白石 知大（杏林大学）
 - ・乳房増大術 丹羽 幸司（ナグモクリニック大阪）
2. 症例登録、合併症報告、施設更新、医師更新システム現況
 - ・登録医師管理システム（2026 年 3 月 31 日現在）

	北海 道	東北	関東	北信 越	東海	関西	中国	四国	九州 沖縄	合計
医師 数	4	9	79	6	11	28	8	6	21	172

- ・実施施設管理システム（2026 年 3 月 31 日現在）

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国	四国	九州 沖縄	合計
施設数	3	5	35	3	4	8	5	5	9	77

・2025年症例登録、合併症報告（エキスパンダー）

	症例数	合併症数	合併症詳細 感染	血腫・出血・漿液腫	壊死・創部離開	その他（被膜拘縮、位置異常、露出、疼痛など）	転帰 抜去・入替
Allergan	18	1	0	1	0	0	0
Motiva	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	1	0	1	0	0	0

・2025年症例登録、合併症報告（インプラント）

	症例数	合併症数	合併症詳細 感染	血腫・出血・漿液腫	壊死・創部離開	その他（被膜拘縮、位置異常、露出、疼痛など）	転帰 抜去・入替
Allergan	62	0	0	0	0	0	0
Sientra	5	0	0	0	0	0	0
Motiva	167	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	234	0	0	0	0	0	0

3. R8 年度診療報酬改定における適応拡大への対応

ガイドライン、講習会内容、システム改修の検討を開始した。

4. 乳房再建に関する市民公開講座

再建マイクロ分野指導医委員会、キャンペーンワーキンググループとの3委員会合同で、乳房再建の実施率が低い3県（山口、山梨、徳島）で実施、もしくは予定した。

- 山口県 3/14 @山口大学医学部附属病院（共催／山口大学形成外科）
- 山梨県 4/12 @山梨県立文化館（共催／山梨大学形成外科）

徳島県 4/24 @あわぎんホール（共催／徳島大学形成外科）

25) 美容医療に関する委員会

委員長：原岡 剛一

担当理事：門松 香一

委員：井上 義一、尾崎 峰、小山 明彦、垣淵 正男、勝部 元紀
倉片 優、小久保健一、手塚 崇文、土佐 泰祥、富田 祥一
諸富 公昭

開催年月日：適宜、オンライン委員会を開催した

基本方針：

美容外科領域における医療安全の確保と、形成外科的視点に基づいた健全な発展に寄与することを目的に、以下を中心に活動を展開する。

活動の概要：

1. 美容外科教育体制の構築に向けた準備

第 69 回日本形成外科学会総会・学術集会（於、徳島）において、美容外科教育をテーマとした委員会企画を実施に向けて準備している。形成外科、美容外科のみならず、皮膚科、美容皮膚科といった美容医療に関与する他診療科からも登壇者を招聘し、多角的な視点から議論を行う。

2. 美容外科市民公開講座開催への協力

- ① 第 48 回日本美容外科学会 JSAPS 総会・第 154 回学術集会（於、東京）において、美容外科市民公開講座を共催した。テーマは「見た目の悩みと心の問題」とし、BDD（身体醜形症）を取り上げた。
- ② 第 69 回日本形成外科学会総会・学術集会（於、徳島）において、美容外科市民公開講座を主催する。テーマは「美容外科医の選び方」とし、美容外科の SNS 広告、専門医制度、いわゆる直美問題を取り上げる。

3. 美容外科ガイドライン作成への協力

令和 7 年度厚労科研美容医療ガイドライン作成に、今年度内の完成に向けて協力している。

4. 委員会公式 SNS アカウントの作成に向けた検討

本委員会内での議論において、美容医療に関する情報発信の必要性については概ね一致した。一方で、一般向けに個別の術式や治療選択等に踏み込む情報発信については慎重な意見が多く、JSAPS との役割分担の整理が必要であるとの認識が共有された。また、日形会としては、教育・制度・倫理といった基盤的事項や、重要事案における注意喚起等を中心に関与すべきとの意見が示された。具体的な発信の対象・内容・手段については、引き続き検討する。

2 6) 動画コンテンツ検討委員会

委員長：松田 健

委員：大西 文夫、小野 真平、河合建一郎、楠原 廣久、曾東 洋平
野村 正、橋川 和信、樋口 慎一、兵藤伊久夫、松本 健吾
松本 洋、宮本 慎平、諸富 公昭、山下 昌信

開催年月日：適宜メール委員会を開催

活動の内容：

(1) 形成外科手術手技学会におけるコラボ企画について

- ・第31回形成外科手術手技学会 動画投稿依頼の予定
- ・第31回日本形成外科手術手技学会（2026. 3. 7）にて動画編集のハンズオンセミナーを開催した。

<司会>

Mac編：橋川 和信（名古屋大学 形成外科）

Windows編：松田 健（新潟大学 形成外科）

<講師>

Mac編：小野 真平（日本医科大学 形成外科）

Windows編：樋口 慎一（名古屋大学 形成外科）

<開催日時>

2026年3月7日（土）

① 14:00～15:30 Mac編

② 15:50～17:20 Windows編

※各セッション 座学30分+実習60分

<会場>

ハンズオンセミナー会場（なんばスカイオコンベンションホール）

<定員>

各セッション10名（計20名）

・第69回日本形成外科学会総会（2026. 4. 22-24）にて

→第68回に引き続きビデオソフトを使った動画編集のハンズオンセミナー開催予定

<司会>

Mac編：橋川 和信（名古屋大学 形成外科）

Windows編：松田 健（新潟大学 形成外科）

<講師>

Mac編：小野 真平（日本医科大学 形成外科）

Windows編：樋口 慎一（名古屋大学 形成外科）

年明けよりウェブサイト上にて募集、いずれも定員に達したため締切り。

2026年4月23日（木）

① 14:45～16:15 Windows編：15名

② 16:20～17:50 Mac編：15名

2026年4月24日（金）

① 9:00～10:30 Windows編：15名

② 10:35～12:05 Mac編：15名

(2) ビデオライブラリー項目の整理について

項目の整理法につき再考（現在のものの改善の余地はあるか否か）

(3) 投稿規定の確認

(4) 動画投稿推進策、特に投稿者へのインセンティブについて

専門医資格申請・更新の点数を付与する（機構より承認可能との回答）

・生涯教育委員会、理事会にて1点付与を承認済み

・1分動画を除く全ての動画投稿に適応（）

・投稿・掲載年度より5年以内なら有効（論文や学会発表と同様）

(5) 投稿動画受付・査読・動画再生数について

・日形会HP 内『日本形成外科学会ビデオライブラリー』の掲載動画は

2026. 3. 11現在計 96 本（審査中3本）。

2025年 動画再生数一覧参照。（別資料）

ビデオライブラリー再生回数 2025年

タイトル	投稿者	再生回数
1 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合（公開日：2024年11月8日）	櫻庭 実	3865
2 皮下血管網遊離全層植皮（公開日：2024年11月12日）	島田 賢一	3842
3 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌-（公開日：2024年11月8日）	青木 恵美	3803
4 関節外内視鏡手術器械の開発（公開日：2024年11月8日）	奥津 一郎	3802
5 口唇裂の手術手技（公開日：2024年11月8日）	佐藤 伸弘	3777
6 メディカルアート講習会 基礎編（公開日：2024年11月8日）	明石 道昭	3683
7 新しい植皮術のトリセツ（公開日：2024年11月8日）	松村 一	3682
8 メディカルアート講習会 応用編（公開日：2024年11月8日）	明石 道昭	3612
9 ロボット手術手技 TORS手術手技（公開日：2024年11月8日）	東野 琢也	3544
10 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから（公開日：2025年1月31日）	中山 健夫	3373
11 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム（公開日：2025年1月31日）	三川 信之	3287
12 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ（公開日：2024年11月8日）	柴田 佳晃	3199
13 漏斗胸合併僧帽弁閉鎖不全症の高齢患者に弁形成術とNuss法の同時手術を行った1例（公開日：2024年5月22日）	加藤 久和	2980
14 顎裂部骨移植に対する腸骨海綿骨採取手技について（公開日：2025年5月22日）	林 稔	2870
15 ガイドライン委員会企画：明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本（公開日：2024年2月29日）	島山 和宏	2868
16 第69回日本形成外科学会総会、学術集会プロモーションビデオ（公開日：2025年5月30日）		2679
17 基本技術をふまえた腓骨皮弁挙上のコツ（公開日：2025年5月28日）	高成 啓介	2651
18 場の展開、切離、止血、縫合の基本手技ー私はこうしているー（公開日：2025年5月23日）	青木 恵美	2537
19 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術（公開日：2023年7月11日）	高見 佳宏	2390
20 「伝える」と「伝える」の違いとは（公開日：2023年1月31日）	鹿野 由利子	2183
21 手術動画の撮影と編集における基本、工夫、研究開発（公開日：2023年1月31日）	庵田 大樹	2098
22 第34回日本形成外科学会基礎学術集会プロモーションビデオ（公開日：2025年5月30日）		1980
23 アームクレーンを用いた高画質な手術動画撮影から形成外科手技を伝える編集まで（公開日：2023年1月31日）	上村 晋司	1863
24 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法（公開日：2023年1月31日）	堂後 京子	1829
25 拡大鏡と医療用ヘッドライトミナの併用の有用性について（公開日：2025年6月5日）	中山 亮太	1825
26 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管静脈吻合術の試み（公開日：2023年1月31日）	津下 到	1756
27 マイクロサージャリーの基礎 動画9 太一細の静脈端側吻合(large-to-small end-to-side anastomosis)（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	1251
28 マイクロサージャリーの基礎 動画6 両端針を用いた動脈端々吻合（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	1058
29 小児頭部からの採皮（公開日：2025年9月5日）	窪田 吉孝	1015
30 顎裂部骨移植における腸骨海綿骨採取のコツ（公開日：2023年1月31日）	今井 啓造	937

ビデオライブラリー再生回数 2025年1月

タイトル	投稿者	再生回数
1 口唇裂の手術手技（公開日：2024年11月8日）	佐藤 伸弘	304
2 皮下血管網遊離全層植皮（公開日：2024年11月12日）	島田 賢一	293
3 メディカルアート講習会 応用編（公開日：2024年11月8日）	明石 道昭	289
4 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌-（公開日：2024年11月8日）	青木 恵美	284
5 関節外内視鏡手術器械の開発（公開日：2024年11月8日）	奥津 一郎	283
6 漏斗胸合併僧帽弁閉鎖不全症の高齢患者に弁形成術とNuss法の同時手術を行った1例（公開日：2024年5月22日）	加藤 久和	282
7 メディカルアート講習会 基礎編（公開日：2024年11月8日）	明石 道昭	282
8 「伝える」と「伝える」の違いとは（公開日：2023年1月31日）	鹿野 由利子	281
9 ガイドライン委員会企画：明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本（公開日：2024年2月29日）	島山 和宏	278
10 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合（公開日：2024年11月8日）	櫻庭 実	278
11 新しい植皮術のトリセツ（公開日：2024年11月8日）	松村 一	276
12 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術（公開日：2023年7月11日）	高見 佳宏	274
13 手術動画の撮影と編集における基本、工夫、研究開発（公開日：2023年1月31日）	庵田 大樹	274
14 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管静脈吻合術の試み（公開日：2023年1月31日）	津下 到	274
15 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法（公開日：2023年1月31日）	堂後 京子	274
16 アームクレーンを用いた高画質な手術動画撮影から形成外科手技を伝える編集まで（公開日：2023年1月31日）	上村 晋司	272
17 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ（公開日：2024年11月8日）	柴田 佳晃	271
18 ロボット手術手技 TORS手術手技（公開日：2024年11月8日）	東野 琢也	270
19 顎裂部骨移植における腸骨海綿骨採取のコツ（公開日：2023年1月31日）	今井 啓造	260
20 瘻管・タロイドの手術ー真皮縫合よりも大切なことー（公開日：2023年1月31日）	小川 令	256
21 逆行性指動脈弁の安全な学上法（公開日：2023年7月29日）	鳥谷部 荘八	52
22 下眼瞼睫毛内反の発生メカニズム：小児と高齢者の違いとそれに対応した術式（公開日：2023年2月31日）	橋本 浩一	50
23 Robotic Peripheral Nerve Reconstruction（公開日：2023年1月30日）	Tommy Nai-Jen Chang	44
24 Aesthetic Subunit Facial Reconstruction Using Free Tissue Transfer（公開日：2023年1月30日）	Kongkrit Chalayasate	43
25 Nerve Decompression Surgery for Headaches（公開日：2023年1月30日）	Jeffrey E. Janis	43
26 Lymphedema, A Localized Disease but With Systemic Effects: "From Bedside to Bench"（公開日：2023年1月30日）	Johnson Chia-Shen Yang	42
27 The Master Surgeon is the Master Anatomist（公開日：2023年1月30日）	Dhruv Singhal	42
28 Closure of Difficult Anterior Fistulae of Palate（公開日：2023年1月30日）	Ghulam Qadir Fayyaz	42
29 oblique triangular flapの安全な学上法（公開日：2022年7月29日）	鳥谷部 荘八	41
30 神経ブロックを用いた下肢デブリードマン（公開日：2021年10月15日）	高田 倫	40

ビデオライブラリー再生回数 2025年2月

タイトル	投稿者	再生回数
1 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム（公開日：2025年1月31日）	三川 信之	179
2 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌-（公開日：2024年11月8日）	青木 恵美	178
3 新しい植皮術のトリセツ（公開日：2024年11月8日）	松村 一	172
4 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術（公開日：2023年7月11日）	高見 佳宏	171
5 関節外内視鏡手術器械の開発（公開日：2024年11月8日）	奥津 一郎	167
6 皮下血管網遊離全層植皮（公開日：2024年11月12日）	島田 賢一	165
7 口唇裂の手術手技（公開日：2024年11月8日）	佐藤 伸弘	161
8 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから（公開日：2025年1月31日）	中山 健夫	159
9 メディカルアート講習会 基礎編（公開日：2024年11月8日）	明石 道昭	159
10 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合（公開日：2024年11月8日）	櫻庭 実	155
11 ロボット手術手技 TORS手術手技（公開日：2024年11月8日）	東野 琢也	153
12 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ（公開日：2024年11月8日）	柴田 佳晃	152
13 メディカルアート講習会 応用編（公開日：2024年11月8日）	明石 道昭	150
14 ガイドライン委員会企画：明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本（公開日：2024年2月29日）	島山 和宏	147
15 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管静脈吻合術の試み（公開日：2023年1月31日）	津下 到	146
16 漏斗胸合併僧帽弁閉鎖不全症の高齢患者に弁形成術とNuss法の同時手術を行った1例（公開日：2024年5月22日）	加藤 久和	145
17 「伝える」と「伝える」の違いとは（公開日：2023年1月31日）	鹿野 由利子	142
18 手術動画の撮影と編集における基本、工夫、研究開発（公開日：2023年1月31日）	庵田 大樹	141
19 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法（公開日：2023年1月31日）	堂後 京子	140
20 アームクレーンを用いた高画質な手術動画撮影から形成外科手技を伝える編集まで（公開日：2023年1月31日）	上村 晋司	139
21 顎裂部骨移植における腸骨海綿骨採取のコツ（公開日：2023年1月31日）	今井 啓造	44
22 マイクロサージャリーの基礎 動画2 糸の結紮後に動脈壁が裂けたところ（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	37
23 マイクロサージャリーの基礎 動画3 "ギロチン型"切断による動脈断端の新鮮化（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	37
24 逆行性指動脈弁の安全な学上法（公開日：2022年7月29日）	鳥谷部 荘八	37
25 oblique triangular flapの安全な学上法（公開日：2022年7月29日）	鳥谷部 荘八	37
26 小耳症に対する我々の新戦略のようにして肋軟骨フレームの機能的整容的構造を獲得するか（公開日：2022年9月9日）	四ツ柳 高敏	35
27 1次2期乳房再建におけるエキスパンダー挿入術（公開日：2022年5月2日）	木山 麻衣子	35
28 マイクロサージャリーの基礎 動画6 両端針を用いた動脈端々吻合（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	33
29 マイクロサージャリーの基礎 動画1 吻合中に動脈壁が裂けたところ（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	33
30 マイクロサージャリーの基礎 動画5 open guide suture techniqueによる動脈端々吻合（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	32

ビデオライブラリー再生回数 2025年3月

タイトル	投稿者	再生回数
1 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム（公開日：2025年1月31日）	三川 信之	237
2 メディカルアート講習会 基礎編（公開日：2024年11月8日）	明石 道昭	226
3 関節外内視鏡手術器械の開発（公開日：2024年11月8日）	奥津 一郎	220
4 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ（公開日：2024年11月8日）	柴田 佳晃	219
5 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌-（公開日：2024年11月8日）	青木 恵美	219
6 口唇裂の手術手技（公開日：2024年11月8日）	佐藤 伸弘	218
7 ロボット手術手技 TORS手術手技（公開日：2024年11月8日）	東野 琢也	215
8 皮下血管網遊離全層植皮（公開日：2024年11月12日）	島田 賢一	215
9 メディカルアート講習会 応用編（公開日：2024年11月8日）	明石 道昭	213
10 新しい植皮術のトリセツ（公開日：2024年11月8日）	松村 一	212
11 ガイドライン委員会企画：明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本（公開日：2024年2月29日）	島山 和宏	211
12 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから（公開日：2025年1月31日）	中山 健夫	209
13 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合（公開日：2024年11月8日）	櫻庭 実	206
14 漏斗胸合併僧帽弁閉鎖不全症の高齢患者に弁形成術とNuss法の同時手術を行った1例（公開日：2024年5月22日）	加藤 久和	206
15 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法（公開日：2023年1月31日）	堂後 京子	202
16 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術（公開日：2023年7月11日）	高見 佳宏	202
17 「伝える」と「伝える」の違いとは（公開日：2023年1月31日）	鹿野 由利子	198
18 手術動画の撮影と編集における基本、工夫、研究開発（公開日：2023年1月31日）	庵田 大樹	197
19 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管静脈吻合術の試み（公開日：2023年1月31日）	津下 到	196
20 アームクレーンを用いた高画質な手術動画撮影から形成外科手技を伝える編集まで（公開日：2023年1月31日）	上村 晋司	189
21 マイクロサージャリーの基礎 動画3 "ギロチン型"切断による動脈断端の新鮮化（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	38
22 小耳症に対する我々の新戦略のようにして肋軟骨フレームの機能的整容的構造を獲得するか（公開日：2022年9月9日）	四ツ柳 高敏	38
23 マイクロサージャリーの基礎 動画8 口径差のある動脈間の端々吻合（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	37
24 マイクロサージャリーの基礎 動画1 吻合中に動脈壁が裂けたところ（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	36
25 マイクロサージャリーの基礎 動画9 太一細の静脈端側吻合(large-to-small end-to-side anastomosis)（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	36
26 マイクロサージャリーの基礎 動画5 open guide suture techniqueによる動脈端々吻合（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	35
27 マイクロサージャリーの基礎 動画4 "缶切り型"切断による動脈断端の新鮮化（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	35
28 マイクロサージャリーの基礎 動画2 糸の結紮後に動脈壁が裂けたところ（公開日：2021年10月1日）	宮本 慎平	34
29 Closure of Difficult Anterior Fistulae of Palate（公開日：2023年1月30日）	Ghulam Qadir Fayyaz	34
30 オープン法による鼻の展開（公開日：2022年6月6日）	植山 真也	34

ビデオライブラリー再生回数 2025年4月

タイトル	投稿者	再生回数
1 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム (公開日: 2025年1月31日)	三川 信之	454
2 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌- (公開日: 2024年11月8日)	青木 恵美	445
3 口唇裂の手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	佐藤 伸弘	429
4 関節内視鏡手術器械の開発 (公開日: 2024年11月8日)	奥津 一郎	422
5 合皮下血管網避離全層植皮 (公開日: 2024年11月12日)	島田 賢一	420
6 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ (公開日: 2024年11月8日)	柴田 佳晃	417
7 メディカルアート講習会 応用編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	412
8 新しい植皮術のトリセツ (公開日: 2024年11月8日)	松村 一	410
9 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合 (公開日: 2024年11月8日)	櫻庭 実	409
10 ロボット手術手技 TORS手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	東野 琢也	409
11 メディカルアート講習会 基礎編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	407
12 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから (公開日: 2025年1月31日)	中山 健夫	400
13 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術 (公開日: 2023年7月11日)	高見 佳宏	389
14 漏斗吻合併骨髄閉鎖不全症の高齢患者に弁形成術とNuss法の同時手術を行った1例 (公開日: 2024年5月22日)	加藤 久和	388
15 ガイドライン委員会企画: 明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本 (公開日: 2024年2月29日)	島山 和宏	388
16 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法 (公開日: 2023年1月31日)	堂後 京子	383
17 「伝える」と「伝わる」の違いとは (公開日: 2023年1月31日)	鹿野 由利子	381
18 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管静脈吻合術の試み (公開日: 2023年1月31日)	津下 到	380
19 アームクレーンを用いた高画質手術動画撮影から形成外科手術を伝える編集まで (公開日: 2023年1月31日)	上村 晋司	378
20 手術動画の撮影と編集における基本、工夫、研究開発 (公開日: 2023年1月31日)	庵田 大樹	363
21 超音波 (エコー) による穿通枝の検索手順穿通枝の検索手順の紹介 カラーフローモードとバルスドブラモードでの波形描出 (公開日: 2022年8月26日)	佐次郎 保徳	173
22 1次2期乳房再建におけるエキスパンダー挿入術 (公開日: 2022年5月2日)	木山 麻衣子	108
23 逆行性指動脈皮弁の安全な学上法 (公開日: 2022年7月29日)	島谷部 荘八	82
24 oblique triangular flapの安全な学上法 (公開日: 2022年7月29日)	島谷部 荘八	80
25 神経ブロックを用いた下肢デブリードマン (公開日: 2021年10月15日)	高田 隼	67
26 瘻瘻・ケロイドの手術 - 真皮縫合よりも大切なこと - (公開日: 2023年1月31日)	小川 令	66
27 顎裂部骨移植における腸骨海綿骨採取のコツ (公開日: 2023年1月31日)	今井 啓造	65
28 マイクロサージャリーの基礎 動画2条の結紮後に動脈壁が裂けたところ (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	64
29 小耳症に対する我々の新戦略のようにして助聴器フレームの機能的整容的構造を獲得するか (公開日: 2022年9月9日)	四ツ脚 高敏	64
30 マイクロサージャリーの基礎 動画3"ギロチン型"切断による動脈断端の新鮮化 (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	62

ビデオライブラリー再生回数 2025年5月

タイトル	投稿者	再生回数
1 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム (公開日: 2025年1月31日)	三川 信之	825
2 合皮下血管網避離全層植皮 (公開日: 2024年11月12日)	島田 賢一	790
3 関節内視鏡手術器械の開発 (公開日: 2024年11月8日)	奥津 一郎	777
4 口唇裂の手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	佐藤 伸弘	775
5 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌- (公開日: 2024年11月8日)	青木 恵美	767
6 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから (公開日: 2025年1月31日)	中山 健夫	765
7 ロボット手術手技 TORS手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	東野 琢也	755
8 メディカルアート講習会 基礎編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	743
9 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合 (公開日: 2024年11月8日)	櫻庭 実	743
10 メディカルアート講習会 応用編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	740
11 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ (公開日: 2024年11月8日)	柴田 佳晃	736
12 「伝える」と「伝わる」の違いとは (公開日: 2023年1月31日)	鹿野 由利子	727
13 新しい植皮術のトリセツ (公開日: 2024年11月8日)	松村 一	726
14 ガイドライン委員会企画: 明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本 (公開日: 2024年2月29日)	島山 和宏	719
15 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術 (公開日: 2023年7月11日)	高見 佳宏	714
16 漏斗吻合併骨髄閉鎖不全症の高齢患者に弁形成術とNuss法の同時手術を行った1例 (公開日: 2024年5月22日)	加藤 久和	707
17 手術動画の撮影と編集における基本、工夫、研究開発 (公開日: 2023年1月31日)	庵田 大樹	706
18 アームクレーンを用いた高画質手術動画撮影から形成外科手術を伝える編集まで (公開日: 2023年1月31日)	上村 晋司	546
19 場の展開、切離、止血、縫合の基本手技- 私はこうしている - (公開日: 2025年5月23日)	青木 恵美	527
20 顎裂部骨移植に対する腸骨海綿骨採取手技について (公開日: 2025年5月22日)	林 稔	526
21 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管静脈吻合術の試み (公開日: 2023年1月31日)	津下 到	395
22 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法 (公開日: 2023年1月31日)	堂後 京子	334
23 基本技術をふまえた腓骨皮弁学上のコツ (公開日: 2025年5月28日)	高成 啓介	272
24 瘻瘻・ケロイドの手術 - 真皮縫合よりも大切なこと - (公開日: 2023年1月31日)	小川 令	161
25 顎裂部骨移植における腸骨海綿骨採取のコツ (公開日: 2023年1月31日)	今井 啓造	143
26 マイクロサージャリーの基礎 動画1吻合中に動脈壁が裂けたところ (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	142
27 マイクロサージャリーの基礎 動画3"ギロチン型"切断による動脈断端の新鮮化 (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	137
28 マイクロサージャリーの基礎 動画2条の結紮後に動脈壁が裂けたところ (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	135
29 マイクロサージャリーの基礎 動画6両端針を用いた動脈端々吻合 (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	133
30 マイクロサージャリーの基礎 動画5 open guide suture techniqueによる動脈端々吻合 (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	131

ビデオライブラリー再生回数 2025年6月

タイトル	投稿者	再生回数
1 基本技術をふまえた腓骨皮弁学上のコツ (公開日: 2025年5月28日)	高成 啓介	666
2 場の展開、切離、止血、縫合の基本手技- 私はこうしている - (公開日: 2025年5月23日)	青木 恵美	590
3 合皮下血管網避離全層植皮 (公開日: 2024年11月12日)	島田 賢一	581
4 第34回日本形成外科学会基礎学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)	576	
5 第69回日本形成外科学会総会・学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)	571	
6 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム (公開日: 2025年1月31日)	三川 信之	570
7 関節内視鏡手術器械の開発 (公開日: 2024年11月8日)	奥津 一郎	569
8 顎裂部骨移植に対する腸骨海綿骨採取手技について (公開日: 2025年5月22日)	林 稔	564
9 口唇裂の手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	佐藤 伸弘	559
10 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合 (公開日: 2024年11月8日)	櫻庭 実	558
11 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌- (公開日: 2024年11月8日)	青木 恵美	555
12 メディカルアート講習会 基礎編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	547
13 メディカルアート講習会 応用編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	542
14 ロボット手術手技 TORS手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	東野 琢也	542
15 ガイドライン委員会企画: 明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本 (公開日: 2024年2月29日)	島山 和宏	533
16 新しい植皮術のトリセツ (公開日: 2024年11月8日)	松村 一	526
17 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ (公開日: 2024年11月8日)	柴田 佳晃	525
18 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから (公開日: 2025年1月31日)	中山 健夫	524
19 漏斗吻合併骨髄閉鎖不全症の高齢患者に弁形成術とNuss法の同時手術を行った1例 (公開日: 2024年5月22日)	加藤 久和	517
20 拡大鏡と医療用ヘッドライトILミナの併用の有用性について (公開日: 2025年6月5日)	中村 亮太	475
21 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術 (公開日: 2023年7月11日)	高見 佳宏	260
22 「伝える」と「伝わる」の違いとは (公開日: 2023年1月31日)	鹿野 由利子	195
23 手術動画の撮影と編集における基本、工夫、研究開発 (公開日: 2023年1月31日)	庵田 大樹	186
24 1次2期乳房再建におけるエキスパンダー挿入術 (公開日: 2022年5月2日)	木山 麻衣子	119
25 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法 (公開日: 2023年1月31日)	堂後 京子	107
26 アームクレーンを用いた高画質手術動画撮影から形成外科手術を伝える編集まで (公開日: 2023年1月31日)	上村 晋司	105
27 マイクロサージャリーの基礎 動画3"ギロチン型"切断による動脈断端の新鮮化 (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	101
28 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管静脈吻合術の試み (公開日: 2023年1月31日)	津下 到	101
29 マイクロサージャリーの基礎 動画2条の結紮後に動脈壁が裂けたところ (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	101
30 マイクロサージャリーの基礎 動画1吻合中に動脈壁が裂けたところ (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	101

ビデオライブラリー再生回数 2025年7月

タイトル	投稿者	再生回数
1 第34回日本形成外科学会基礎学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)	349	
2 第69回日本形成外科学会総会・学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)	346	
3 顎裂部骨移植に対する腸骨海綿骨採取手技について (公開日: 2025年5月22日)	林 稔	303
4 基本技術をふまえた腓骨皮弁学上のコツ (公開日: 2025年5月28日)	高成 啓介	283
5 マイクロサージャリーの基礎 動画3"ギロチン型"切断による動脈断端の新鮮化 (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	261
6 場の展開、切離、止血、縫合の基本手技- 私はこうしている - (公開日: 2025年5月23日)	青木 恵美	239
7 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム (公開日: 2025年1月31日)	三川 信之	238
8 合皮下血管網避離全層植皮 (公開日: 2024年11月12日)	島田 賢一	230
9 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌- (公開日: 2024年11月8日)	青木 恵美	225
10 関節内視鏡手術器械の開発 (公開日: 2024年11月8日)	奥津 一郎	224
11 ガイドライン委員会企画: 明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本 (公開日: 2024年2月29日)	島山 和宏	224
12 拡大鏡と医療用ヘッドライトILミナの併用の有用性について (公開日: 2025年6月5日)	中村 亮太	222
13 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合 (公開日: 2024年11月8日)	櫻庭 実	222
14 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ (公開日: 2024年11月8日)	柴田 佳晃	218
15 漏斗吻合併骨髄閉鎖不全症の高齢患者に弁形成術とNuss法の同時手術を行った1例 (公開日: 2024年5月22日)	加藤 久和	217
16 メディカルアート講習会 基礎編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	214
17 新しい植皮術のトリセツ (公開日: 2024年11月8日)	松村 一	214
18 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから (公開日: 2025年1月31日)	中山 健夫	213
19 口唇裂の手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	佐藤 伸弘	212
20 ロボット手術手技 TORS手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	東野 琢也	210
21 メディカルアート講習会 応用編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	209
22 顎裂部骨移植における腸骨海綿骨採取のコツ (公開日: 2023年1月31日)	今井 啓造	84
23 マイクロサージャリーの基礎 動画2条の結紮後に動脈壁が裂けたところ (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	82
24 マイクロサージャリーの基礎 動画1吻合中に動脈壁が裂けたところ (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	80
25 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術 (公開日: 2023年7月11日)	高見 佳宏	74
26 褥瘡に伴うケロイドに対する手術方法 (公開日: 2023年1月31日)	塩原 定子	63
27 瘻瘻・ケロイドの手術 - 真皮縫合よりも大切なこと - (公開日: 2023年1月31日)	小川 令	63
28 マイクロサージャリーの基礎 動画6両端針を用いた動脈端々吻合 (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	62
29 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管静脈吻合術の試み (公開日: 2023年1月31日)	津下 到	60
30 下眼瞼睫毛内反の発生メカニズム: 小児と高齢者の違いとそれそれぞれに対応した術式 (公開日: 2023年1月31日)	権太 浩一	60

ビデオライブラリー再生回数 2025年8月

タイトル	投稿者	再生回数
1 顎裂部骨移植に対する腸骨海綿骨採骨手技について (公開日: 2025年5月22日)	林 稔	478
2 第34回日本形成外科学会基礎学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)		267
3 第69回日本形成外科学会総会・学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)		264
4 基本技術をふまえた腓骨皮弁挙上のコツ (公開日: 2025年5月28日)	高成 啓介	182
5 場の展開, 切離, 止血, 縫合の基本手技- 私はこうしている - (公開日: 2025年5月23日)	青木 恵美	180
6 拡大鏡と医療用ヘッドライトの併用の有用性について (公開日: 2025年6月5日)	中村 亮太	180
7 漏斗骨併骨閉鎖不全症の高齢患者に弁形成形術とNuss法の同時手術を行った1例 (公開日: 2024年5月22日)	加藤 久和	177
8 含皮下血管網遊離全層植皮 (公開日: 2024年11月12日)	島田 賢一	177
9 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム (公開日: 2025年1月31日)	三川 信之	176
10 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合 (公開日: 2024年11月8日)	徳庭 実	173
11 関節外内視鏡手術器械の開発 (公開日: 2024年11月8日)	奥津 一郎	172
12 メディカルアート講習会 基礎編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	169
13 口唇裂の手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	佐藤 伸弘	169
14 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌- (公開日: 2024年11月8日)	青木 恵美	168
15 ロボット手術手技 TORS手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	東野 琢也	164
16 新しい植皮術のトリセツ (公開日: 2024年11月8日)	松村 一	164
17 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ (公開日: 2024年11月8日)	柴田 佳晃	164
18 メディカルアート講習会 応用編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	163
19 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから (公開日: 2025年1月31日)	中山 健夫	162
20 ガイドライン委員会企画: 明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本 (公開日: 2024年2月29日)	島田 和宏	160
21 全首、両前腕切断に対するKrukenberg手術 (公開日: 2023年7月11日)	高見 佳宏	75
22 顎裂部骨移植における腸骨海綿骨採取のコツ (公開日: 2023年1月31日)	今井 啓造	58
23 褥瘡を伴うケロイドに対する手術方法 (公開日: 2023年1月31日)	福原 定子	56
24 Running Locked Sutureによる植皮固定法の一例 (公開日: 2023年1月31日)	森川 周至	56
25 出血制御と整容、機能性を両立するためのデブリードマン手技分類 (公開日: 2023年1月31日)	加藤 敬	55
26 逆行性指動脈皮弁の安全な挙上法 (公開日: 2022年7月29日)	島谷部 荘八	55
27 リアルタイム画像投影ナビゲーションを用いたリンパ管肺動脈吻合術の試み (公開日: 2023年1月31日)	津下 到	54
28 瘻管・ケロイドの手術-真皮縫合よりも大切なこと- (公開日: 2023年1月31日)	小川 令	53
29 整容的な植皮術の工夫 (公開日: 2023年1月31日)	吉龍 達子	52
30 In situ splittingによる肋骨外板採取 (公開日: 2023年1月31日)	西岡 葵	51

ビデオライブラリー再生回数 2025年9月

タイトル	投稿者	再生回数
1 第69回日本形成外科学会総会・学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)		459
2 第34回日本形成外科学会基礎学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)		454
3 基本技術をふまえた腓骨皮弁挙上のコツ (公開日: 2025年5月28日)	高成 啓介	341
4 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム (公開日: 2025年1月31日)	三川 信之	333
5 顎裂部骨移植に対する腸骨海綿骨採骨手技について (公開日: 2025年5月22日)	林 稔	326
6 場の展開, 切離, 止血, 縫合の基本手技- 私はこうしている - (公開日: 2025年5月23日)	青木 恵美	325
7 小児頭部からの採皮 (公開日: 2025年9月5日)	窪田 吉孝	309
8 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌- (公開日: 2024年11月8日)	青木 恵美	307
9 関節外内視鏡手術器械の開発 (公開日: 2024年11月8日)	奥津 一郎	306
10 新しい植皮術のトリセツ (公開日: 2024年11月8日)	松村 一	306
11 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合 (公開日: 2024年11月8日)	徳庭 実	303
12 拡大鏡と医療用ヘッドライトの併用の有用性について (公開日: 2025年6月5日)	中村 亮太	303
13 含皮下血管網遊離全層植皮 (公開日: 2024年11月12日)	島田 賢一	302
14 メディカルアート講習会 応用編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	294
15 メディカルアート講習会 基礎編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	290
16 口唇裂の手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	佐藤 伸弘	290
17 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから (公開日: 2025年1月31日)	中山 健夫	289
18 ロボット手術手技 TORS手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	東野 琢也	284
19 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ (公開日: 2024年11月8日)	柴田 佳晃	240
20 漏斗骨併骨閉鎖不全症の高齢患者に弁形成形術とNuss法の同時手術を行った1例 (公開日: 2024年5月22日)	加藤 久和	227
21 出血制御と整容、機能性を両立するためのデブリードマン手技分類 (公開日: 2023年1月31日)	加藤 敬	178
22 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法 (公開日: 2023年1月31日)	堂後 京子	158
23 小耳症に対する我々の新戦略のよりにして助聴器フレームの機能的整容的構造を獲得するか (公開日: 2022年9月9日)	四ツ柳 英敏	138
24 MicrodissectionとMacrodissectionによるThin Flapの作成 (公開日: 2023年1月24日)	斎藤 昌夫	138
25 1次2期乳房再建におけるエキスパンダー挿入術 (公開日: 2022年5月2日)	高野 淳子	89
26 ガイドライン委員会企画: 明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本 (公開日: 2024年2月29日)	島田 和宏	81
27 全首、両前腕切断に対するKrukenberg手術 (公開日: 2023年7月11日)	高見 佳宏	74
28 脂肪注入豊胸について (公開日: 2025年9月26日)	石塚 紀行	72
29 シリコンインプラント抜去と同時に脂肪注入豊胸について (公開日: 2025年9月26日)	石塚 紀行	70
30 マイクロサージャリーの基礎 動画1 吻合中に動脈壁が裂けたところ (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	57

ビデオライブラリー再生回数 2025年10月

タイトル	投稿者	再生回数
1 マイクロサージャリーの基礎 動画9 太一細の静脈端側吻合(large-to-small end-to-side anastomosis) (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	771
2 基本技術をふまえた腓骨皮弁挙上のコツ (公開日: 2025年5月28日)	高成 啓介	553
3 マイクロサージャリーの基礎 動画6 両端針を用いた動脈網々吻合 (公開日: 2021年10月1日)	宮本 慎平	511
4 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合 (公開日: 2024年11月8日)	徳庭 実	505
5 第69回日本形成外科学会総会・学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)		453
6 小児頭部からの採皮 (公開日: 2025年9月5日)	窪田 吉孝	360
7 場の展開, 切離, 止血, 縫合の基本手技- 私はこうしている - (公開日: 2025年5月23日)	青木 恵美	358
8 新しい植皮術のトリセツ (公開日: 2024年11月8日)	松村 一	356
9 顎裂部骨移植に対する腸骨海綿骨採骨手技について (公開日: 2025年5月22日)	林 稔	354
10 含皮下血管網遊離全層植皮 (公開日: 2024年11月12日)	島田 賢一	350
11 口唇裂の手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	佐藤 伸弘	348
12 シリコンインプラント抜去と同時に脂肪注入豊胸について (公開日: 2025年9月26日)	石塚 紀行	345
13 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌- (公開日: 2024年11月8日)	青木 恵美	343
14 関節外内視鏡手術器械の開発 (公開日: 2024年11月8日)	奥津 一郎	342
15 脂肪注入豊胸について (公開日: 2025年9月26日)	石塚 紀行	339
16 メディカルアート講習会 基礎編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	334
17 第34回日本形成外科学会基礎学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)		334
18 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから (公開日: 2025年1月31日)	中山 健夫	333
19 メディカルアート講習会 応用編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	331
20 拡大鏡と医療用ヘッドライトの併用の有用性について (公開日: 2025年6月5日)	中村 亮太	329
21 難治性下腿潰瘍に対してプロントザンソリユーション®を用いてデブリードマンを行った1例 (公開日: 2024年5月22日)	坂 義保	290
22 ロボット手術手技 TORS手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	東野 琢也	268
23 第33回日本形成外科学会基礎学術集会 CST委員会企画シンポジウム (公開日: 2025年1月31日)	三川 信之	252
24 褥瘡を伴うケロイドに対する手術方法 (公開日: 2023年1月31日)	福原 定子	226
25 整容的な植皮術の工夫 (公開日: 2023年1月31日)	吉龍 達子	209
26 逆行性指動脈皮弁の安全な挙上法 (公開日: 2022年7月29日)	島谷部 荘八	145
27 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ (公開日: 2024年11月8日)	柴田 佳晃	141
28 学会事務局員に聞く！日本形成外科学会諸制度について (公開日: 2021年12月27日)	中島 駿一	74
29 顎裂部骨移植における腸骨海綿骨採取のコツ (公開日: 2023年1月31日)	今井 啓造	66
30 全首、両前腕切断に対するKrukenberg手術 (公開日: 2023年7月11日)	高見 佳宏	60

ビデオライブラリー再生回数 2025年11月

タイトル	投稿者	再生回数
1 第35回日本形成外科学会基礎学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年11月4日)		310
2 第69回日本形成外科学会総会・学術集会プロモーションビデオ (公開日: 2025年5月30日)		274
3 基本技術をふまえた腓骨皮弁挙上のコツ (公開日: 2025年5月28日)	高成 啓介	254
4 小児頭部からの採皮 (公開日: 2025年9月5日)	窪田 吉孝	242
5 新しい植皮術のトリセツ (公開日: 2024年11月8日)	松村 一	233
6 含皮下血管網遊離全層植皮 (公開日: 2024年11月12日)	島田 賢一	228
7 関節外内視鏡手術器械の開発 (公開日: 2024年11月8日)	奥津 一郎	228
8 顎裂部骨移植に対する腸骨海綿骨採骨手技について (公開日: 2025年5月22日)	林 稔	226
9 口唇裂の手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	佐藤 伸弘	226
10 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合 (公開日: 2024年11月8日)	徳庭 実	222
11 場の展開, 切離, 止血, 縫合の基本手技- 私はこうしている - (公開日: 2025年5月23日)	青木 恵美	221
12 脂肪注入豊胸について (公開日: 2025年9月26日)	石塚 紀行	220
13 難治性下腿潰瘍に対してプロントザンソリユーション®を用いてデブリードマンを行った1例 (公開日: 2025年10月8日)	坂 義保	220
14 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌- (公開日: 2024年11月8日)	青木 恵美	219
15 メディカルアート講習会 基礎編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	216
16 ロボット手術手技 TORS手術手技 (公開日: 2024年11月8日)	東野 琢也	216
17 拡大鏡と医療用ヘッドライトの併用の有用性について (公開日: 2025年6月5日)	中村 亮太	216
18 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今、これから (公開日: 2025年1月31日)	中山 健夫	214
19 メディカルアート講習会 応用編 (公開日: 2024年11月8日)	明石 道昭	213
20 シリコンインプラント抜去と同時に脂肪注入豊胸について (公開日: 2025年9月26日)	石塚 紀行	210
21 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚層化のコツ (公開日: 2024年11月8日)	柴田 佳晃	62
22 ガイドライン委員会企画: 明日からの実践に活かす Shared decision makingの基本 (公開日: 2024年2月29日)	島田 和宏	43
23 出血制御と整容、機能性を両立するためのデブリードマン手技分類 (公開日: 2023年1月31日)	加藤 敬	43
24 全首、両前腕切断に対するKrukenberg手術 (公開日: 2023年7月11日)	高見 佳宏	42
25 漏斗骨併骨閉鎖不全症の高齢患者に弁形成形術とNuss法の同時手術を行った1例 (公開日: 2024年5月22日)	加藤 久和	41
26 乳腺乳輪再建における簡便で確実な全層植皮法 (公開日: 2023年1月31日)	堂後 京子	36
27 逆行性指動脈皮弁の安全な挙上法 (公開日: 2022年7月29日)	島谷部 荘八	36
28 下眼瞼睫毛内反の発生メカニズム: 小児と高齢者の違いとそれぞれに対応した術式 (公開日: 2023年1月31日)	橋本 浩一	36
29 神経ブロックを用いた下肢デブリードマン (公開日: 2021年10月15日)	高田 怜	34
30 oblique triangular flapの安全な挙上法 (公開日: 2022年7月29日)	島谷部 荘八	34

タイトル	投稿者	再生回数
1 第35回日本形成外科学会基礎学術集会プロモーションビデオ（公開日：2025年11月4日）		345
2 第69回日本形成外科学会総会・学術集会プロモーションビデオ（公開日：2025年5月30日）		312
3 小児頭部からの採皮（公開日：2025年9月5日）	窪田 吉孝	104
4 基本技術をふまえた腓骨皮弁挙上のコツ（公開日：2025年5月28日）	高成 啓介	100
5 難治性下腿潰瘍に対してプロントザンソリューション®を用いてデブリードマンを行った1例（坂 英保	坂 英保	100
6 拡大鏡と医療用ヘッドライトの併用の有用性について（公開日：2025年6月5日）	中村 亮太	100
7 場の展開、切離、止血、縫合の基本手法ー私はこうしているー（公開日：2025年5月23日）	青木 恵美	97
8 メディカルアート 講習会 基礎編（公開日：2024年11月8日）	明石 連昭	96
9 皮膚がんのトリセツ-基底細胞癌・有棘細胞癌-（公開日：2024年11月8日）	青木 恵美	93
10 顎裂部骨移植に対する膝骨海綿骨採骨手法について（公開日：2025年5月22日）	林 稔	93
11 関節外内視鏡手術器械の開発（公開日：2024年11月8日）	奥津 一郎	92
12 下肢の遊離皮弁移植における膝窩部での血管吻合（公開日：2024年11月8日）	櫻庭 実	91
13 合皮下血管網遊離全層植皮（公開日：2024年11月12日）	島田 賢一	91
14 「美形」外科に思う温故知新（公開日：2022年3月17日）		89
15 脂肪注入豊胸について（公開日：2025年9月26日）	石塚 紀行	89
16 シリコンインプラント抜去と同時に行う脂肪注入豊胸について（公開日：2025年9月26日）	石塚 紀行	88
17 新しい植皮のトリセツ（公開日：2024年11月8日）	松村 一	87
18 口唇裂の手術手法（公開日：2024年11月8日）	佐藤 伸弘	86
19 ガイドライン委員会企画セミナー 診療ガイドラインの今・これから（公開日：2025年1月31日）	中山 健夫	83
20 自家皮膚細胞移植用キット（RECELL^{®}自家細胞採取・非培養細胞懸濁液作製	島田 賢一	61
21 ロボット手術手法 TORS手術手法（公開日：2024年11月8日）	東野 琢也	58
22 メディカルアート講習会 応用編（公開日：2024年11月8日）	明石 連昭	56
23 全盲、両前腕切断に対するKrukenberg手術（公開日：2023年7月11日）	高見 佳宏	55
24 トラフェルミン製剤（フィブラスト^{®}スプレー）あらたなRevolutionー集積さ	島田 賢一	54
25 失敗しないPadgett-Hood Dermatomeを用いた全層皮膚分層化のコツ（公開日：2024年11月8日）	柴田 佳晃	54
26 The Master Surgeon is the Master Anatomist（公開日：2023年1月30日）	Dhruv Singhal	47
27 出血制御と整容、機能性を両立するためのデブリードマン手法分類（公開日：2023年1月31日）	加藤 敬	44
28 小耳症に対する我々の新戦略のようにして肋軟骨フレームの機能的整容的構造を獲得するか（公開日：2022年9月9日）	四ツ脚 高敏	43
29 In situ splittingによる肋軟骨外板採取（公開日：2023年1月31日）	西岡 修	43
30 Robotic Peripheral Nerve Reconstruction（公開日：2023年1月30日）	Tommy Nai-Jen Chang	40

27) CST委員会（下線は日本外科学会 CST 推進委員会委員）

委員長：今井 啓道

副委員長：三川 信之

委員：石川 耕資、井上 義一、今西 宣晶、岩尾 敦彦、坂本 好昭
清水 史明、高須 啓之、津下 到、常川 主裕、中川 雅裕
野村 正、元村 尚嗣

開催年月日：

2025年7月21日 第一回委員会（WEB会議）

2026年1月21日 第二回委員会（WEB会議）

2026年6月11日 第一回日本外科学会 CST 推進委員会（WEB会議）

2026年9月30日 第二回日本外科学会 CST 推進委員会（WEB会議）

2026年12月22日 第三回日本外科学会 CST 推進委員会（WEB会議）

2027年1月14日 第四回日本外科学会 CST 推進委員会（WEB会議）

他、メール会議多数

活動内容：

1. 日本外科学会 CST 推進委員会への参加と連携活動
 - 1) CST 推進委員会からの共同声明文検討
 - 2) 2024年度 CST 実施報告書のレビューと未承認実施大学への指導
 - 3) 新設される日本 CST 監理・支援機構への調査と入会検討
2. CST 倫理講習の e-learning システム構築
3. 2025年度基礎学会での委員会企画シンポジウムの実施
(第1回 CST 倫理講習会併施)
4. CST で得られた画像の学術利用に向けた提言の検討

活動の概要：

1. 「臨床医学・歯学の教育及び研究におけるご遺体の取扱いに関する共同声明」文に関して、形成外科学会として懸念点や修正点を記した意見書を提出し、日本外科学会 CST 推進委員会にて議論に参加した。参加学会と篤志献体団体の同意を得て、同共同声明文を2025年9月5日付けで発布公開された（末尾に掲載）。
2. 2024年度 CST 実施報告書のレビューを行った。
 - 1) 2024年度は18施設で31回の CST が行われた
 - 2) 2024年度の承認率は100%（前年度は89%）
 - 3) 以下の点が審議・指摘された
 - ・「献体」を「検体」と記載誤り（篤志団体として見過ごせない誤り）
 - ・「ご遺体」を「献体」と記載誤り（篤志団体より指摘）
 - ・高額な収支の CST（開催校への確認と審議の上、承認）
3. 日本外科学会 CST 推進委員会に代わり 2026年4月設立予定の「一般社団法人日本 CST 監理・支援機構」についての調査・検討を行った。高額な学会費用負担（入会金100万円、年会費50万円）、設立趣旨、役員報酬得の可否、等について質問状を提出し、日本外科学会 CST 推進委員会にて厚労省担当者も含めた議論に参加した。質問状への回答や説明にて、本邦において CST を合法的に実施するために本機構が必要であること、及び形成外科学会として CST の実施を進めていくため本機構への入会は必要である点を理解し承認した上で、高額な学会

費用負担や役員報酬については他学会と連携し引き続き検討していくこととなった。

4. 日本形成外科学会 CST 倫理講習会動画受講・受講証明書発行システムをマイページ上で 2025 年 11 月より公開した。本証明書の有効期限は 1 年間とした。本邦で形成外科が主催する CST の受講生・国内講師は本講習会の受講を 2026 年度以降は義務化し、暫定期間である 2025 年度は強く推奨するとした。
5. 第 34 回日本形成外科学会基礎学術集会にて、CST 委員会企画シンポジウムを以下のごとく 2025 年 10 月 16 日に実施し、これを第 1 回 CST 倫理講習会とし受講証明書を発行した。

「CST 参加者・実施者に倫理講習会受講を義務化します！」

- 1) 4 年間の日形会 CST 委員長としての取り組み

千葉大学大学院医学研究院 形成外科学 三川 信之先生

- 2) 適切な CST とは：留意点とリスク

北海道大学病院 消化器外科 II/ 先端医療技術教育研究開発センター

七戸 俊明先生

- 3) 解剖学教室から見た現状の CST

慶応義塾大学 解剖学 今西 宣晶

6. CST 顔面画像学術利用検討 Working Group (班長：今西宣晶) を発足させ、日本形成外科学会における解剖画像、特に顔面の肉眼写真の取扱いに関する提言の作成を目指して活動を開始した。これまで、学会・大学における CST 画像の扱いについて調査し、国際的な傾向についても論文などの調査を行った。今後、CST を実施している施設へのアンケート調査を計画している。作成した提言について 2026 年度の第 35 回基礎学術集会シンポジウムにて会員と議論する予定である。

臨床医学・歯学の教育及び研究におけるご遺体の取扱いに関する共同声明

2025 年 9 月 5 日発布

一般社団法人日本医学会連合

一般社団法人日本歯科医学会連合

一般社団法人全国医学部長病院長会議

歯科大学学長・歯学部長会議

篤志解剖全国連合会

一般社団法人日本解剖学会

一般社団法人日本外科学会

公益社団法人日本整形外科学会

一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

一般社団法人日本脳神経外科学会

一般社団法人日本救急医学会

公益社団法人日本口腔外科学会

公益社団法人日本産科婦人科学会

一般社団法人日本形成外科学会

公益社団法人日本麻酔科学会

一般社団法人日本泌尿器科学会

死者に対する畏敬の念は、文化・宗教・時代を超えて多くの社会で共有されてきた普遍的な倫理観であり、すべての者が保持すべき基本姿勢である。人の尊厳は死後も失われることなく保持されるべきであり、いかなる場合においてもご遺体を取り扱う際には、深い敬意と特段の配慮が必要である。

わが国の医療関係者の教育においては、無条件・無報酬の篤志献体制度にもとづく解剖学教育がその入口に位置付けられている。解剖学実習は、医学・歯学の基礎を学ぶ場としての意義に加え、医療者としての倫理観・使命感の形成に欠かすことのできない貴重な機会である。人体の精巧さや複雑さに畏怖をおぼえ、自らの経験と成長が献体者とそのご家族の無償のご厚意によって支えられていることを知る。それにより、自らに負託された責任の重さを自覚するとともに、未知の病態や生命現象と格闘することを覚悟し社会に貢献する決意を新たにした初心を、すべての医療関係者はその生涯を通して忘れてはならない。わが国では解剖学の教育のみならず、医学・歯学研究や、必要性・重要性が近年増しつつある外科手術手技研修（Cadaver Surgical Training: CST）も篤志献体制度に依拠している。医学・歯学の教育・研究に携わる者は、篤志献体者ならびにご家族に対する感謝と配慮の気持ちを忘れてならない。医学・歯学の進歩と技術向上に貢献するわが国独自の本制度を維持・発展させていくためには、ご遺体に関わるわが国の国民感情や社会的・文化的背景にも十分に配慮しつつ、献体者やそのご家族の信頼を裏切らぬよう、またご意向を尊重するよう、関連教育機関及び学協会は誠意をもって行動することが求められる。

そこで、本声明発出団体は連名で、国内外を問わずご遺体を取り扱う教育・研究の適正化を主導する責務を果たすべく、以下に掲げる事項を厳守し、会員に不適切な行為が発覚した場合には、刑事罰の対象となる可能性があることも踏まえ、厳正な対応を行うことを宣言する。また、ご遺体を用いた臨床医学・歯学の教育及び研究を行う大学に対し、ご遺体の使用に関するルールやガイドライン等の周知や啓発を徹底するとともに、不適切な取扱いに対しては、厳正に対処することを学内ならびに学外の CST 等の参加者に周知するよう求める。さらに、学内で不適切な行為が発覚した場合には、大学の責任において懲戒処分等を行い、極めて悪質な場合には刑事罰の対象となる可能性があることも踏まえた速やかな是正措置を講じることを要請する。

1. 死者の尊厳と献体者やそのご家族の意思の尊重

- ・死者への礼意と敬意をもち、また献体者に対するご家族の深い想いに配慮し、一切の軽率な行動を慎むこと
- ・死者（臓器部分を含む）の画像等のデータを含む個人情報厳密に管理し、不適切な共有は行わないこと
- ・ご遺体を用いた教育・研究を行う際は、わが国の篤志献体制度の理念を尊重し、国内外を問わず、いわゆる「遺体ビジネス」と誤解されることのないよう、透明性・公正性ならびにわが国の篤志献体制度への影響に十分配慮すること

2. 法令及び倫理指針、ガイドライン等の遵守

- ・献体によるご遺体を用いた人体解剖を行うにあたっては、「献体解剖倫理指針」（篤志解剖全国連合会・日本篤志献体協会・日本解剖学会）を遵守すること
- ・CST 等の臨床医学教育目的におけるご遺体の使用に関しては、「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」（日本外科学会・日本解剖学会）を遵守すること
- ・医学研究目的におけるご遺体の使用に関しては、上記指針・ガイドラインに加え、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）などの関連指針*を遵守すること

・上記の指針やガイドラインに加え、実施機関の倫理委員会等による審査・承認を受け、ご遺体の使用においては、承認内容の趣旨や内容から逸脱した行為は行わないこと

3. ご遺体の適正な取扱いとガバナンスの徹底

・医学・歯学教育及び研究におけるご遺体の管理は解剖学教室のみならず大学全体の責任として行うこと

・関連学協会は、専門性に依拠する自律的規範意識（プロフェッショナル・オートノミー）に則り、ご遺体の適切な取扱いについて会員ならびに、関係する医師・歯科医師等への指導・監督を徹底すること

・関連学協会は、学会としてあるいは会員が海外でご遺体を用いた臨床医学の教育及び研究を行う場合においても、ご遺体に関わるわが国の国民感情や社会的・文化的背景に十分配慮した倫理遵守を徹底するように学会として責任をもって指導すること

・ご遺体を用いた臨床医学・歯学の教育及び研究を実施する大学及び関連学協会は、上記の関連指針等の遵守をあらかじめ関係者に周知すると共に、不適切な行為が確認された場合、その者に対し、大学・学協会の責任において、必要に応じて刑事罰の対象となる可能性があることも踏まえた厳正な対応を行い、速やかに是正措置を講じること

注釈

*関連する指針の例：「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」（日本解剖学会）、「人体および人体標本を用いた医学・歯学の教育と研究における倫理的問題に関する提言」（日本解剖学会・日本病理学会・日本法医学会）、「臨床医学研究における遺体使用に関する提言」（日本外科学会 CST 推進委員会）、「医療機器の研究開発におけるカダバースタディー**に関するガイダンス」（経済産業省・国立研究開発法人日本医療研究開発機構）

**カダバースタディー：ここでは特に別途生前の同意とご家族の承認を得た上で献体者のご遺体を医療機器開発等の目的で使用するケースを指す。

27-i) 顔面移植 WG

委員長：橋川 和信

担当理事：今井 啓道

委員：安倍 吉郎、石田 勝大、井上 義一、小野 真平、坂本 好昭
櫻庭 実、清水 史明、根本 仁、林 礼人、原岡 剛一
日原 正勝、元村 尚嗣、山路 佳久

活動の概要：

・前年度から引き続き、同種顔面移植指針の執筆・編集作業を行っている。総論部分から公表する予定である。

28) 形成外科ロボット手術検討委員会

委員長：上村 哲司

委員：赤松 正、秋田 新介、浅野 裕子、井上 義一、梅本 泰孝
大河内真之、大崎 健夫、大守 誠、小野 真平、櫻村 勉
加藤 久和、門田 英輝、金山 幸司、岸 慶太、北 幸紘

酒井 成貴、坂原 大亮、佐武 利彦、関 征央、素輪 善弘
高成 啓介、田代 絢亮、堂後 京子、富田 祥一、丹羽 幸司
永竿 智久、沼尻 敏明、根本 仁、橋川 和信、東野 琢也
松村 一、三上 太郎、宮本 慎平、村井 信幸、村木 健二
森 裕晃、森 弘樹、矢澤 真樹、矢野 智之、山下 修二
山本 直人、吉田 周平、関堂 充（相談役）、森本 尚樹（相談役）

開催年月日：

- ①2025年4月 17日 第1回全体会議（現地）
- ②2025年7月11日 第1回制度設計委員会（オンライン）
- ③2025年10月16日 第2回全体会議（現地）
- ④2025年12月1日 第2回制度設計委員会（オンライン）
- ⑤2026年1月16日 第3回制度設計委員会（オンライン）

その他、適宜メール会議を開催した。

主な議題：

1. 「形成外科ロボット手術検討委員会」の活動報告
2. マイクロサージャーに特化したロボット支援手術
3. 形成外科領域における内視鏡手術のアンケート調査（2024. 1-2025. 12）

活動の概要：

1. 制度設計委員会（上村委員長）
2. 教育プログラム作成委員会（浅野委員長）
3. ガイドライン作成委員会（橋川委員長）
4. 学術プログラム作成委員会（樫村委員長）
5. 手術支援ロボット開発推進委員会（橋川委員長）
6. その他の先進技術推進委員会（小野委員長）
7. 薬事保険委員会（佐武委員長）
8. レジストリ委員会（山本委員長）
9. 手術テキスト作成委員会（東野委員長）
10. 保険収載を念頭においた臨床研究検討委員会（矢野委員長）

本年度は、上記10の小委員会に分かれ活動を行った。

主な内容として

- 1) 第68回日本形成外科学会総会（2025. 4. 16-18）で、委員会企画で「Robotic Plastic Surgeryの水平線の先」の開催を行った。
- 2) 第34回日本形成外科学会基礎学術集会（2025. 10. 16-17）で委員会企画を行った。
第13回国際ロボット支援下マイクロサージャリー&内視鏡手術学会(Robotic Assisted Microsurgical & Endoscopic Society Symposium、2025. 10. 14. 15、会長 上村哲司)の開催を援助した。
- 3) Symani®を用いた保健収載を念頭に置いた臨床研究について検討を行った。
その結果、薬事承認後に、マイクロロボット機器を購入できる施設で、自費での臨床導入を行う方針となった。
- 4) 日本内視鏡外科学会が行う本アンケート調査に対し、「形成外科領域における内視鏡手術のアンケート調査」を行った（2026. 3. 31締切）。
2026年4月末までに、アンケート集計を行い、委員会から日本内視鏡外科学会

へ提出する予定である。

5) 2026年度の保険診療の改正において、本委員会が進める形成外科領域のロボット手術の前段階となる従式が保険収載された。

①乳房再建術；一次的、二次的に行うもの (内視鏡下によるもの)

②ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (内視鏡下によるもの)

③組織拡張術による再建手術 (内視鏡下によるもの)

6) 形成外科内視鏡下・ロボット支援手術のガイドラインとなる書籍の作成を委員会で行った(克誠堂「形成外科内視鏡下ロボット支援下手術」)。

29) 災害対策委員会

委員長：林 礼人

担当理事：杠 俊介

委員：赤石 諭史、大谷 一弘、柏木 慎也、岸邊 美幸、黒川 正人
黒柳 美里、小林 尚史、坂本 道治、佐藤 孝道、鈴木 綾乃
中川 宏治、永松 将吾、野口 昌彦、林田 健志、樋口 慎一
日原 正勝、藤井 美樹、本多 孝之、松井 瑞子、松本 健吾

開催年月日：

(ア) 2025年4月18日(現地)

(イ) 2025年7月4日(現地)

(ウ) 適宜メール委員会を開催

活動の概要：

1. 災害対策マニュアルのリニューアル

東日本大震災を契機に制定された本学会の災害時対策マニュアルの見直しを行なうために、原案を作成の上、委員会内で検討を行っている。大規模災害時に創傷外科医としての役割を果たすことを目指している。

2. 企画シンポジウムの開催

昨年総会時に JMAT との連携も踏まえ日本医師会副理事長で、JMAT 担当である細川秀一先生をお迎えし、企画シンポジウムを開催した。次回総会時には「日本プライマリ・ケア連合学会における災害医療への取り組み」に関する外部講師の講演も含め、JMAT や DMAT との関わりなどについて検討を行っていく。

3. 災害支援に関するアンケートを Google form を用いて実施

大規模災害の亜急性期以降における医療支援に関する考え方について、会員全体へのアンケートを行なった。結果について、総会時に報告予定である。

30) 専門医制度委員会 委員会報告

委員長：橋本 一郎

委員：今井 啓道、岡崎 睦、門田 英輝、貴志 和生、久保 盾貴
鳥山 和宏、松村 一、三川 信之、宮脇 剛司、森本 尚樹

2025年度第1回専門医制度委員会

日時：2026年3月9日(月) 18:00~19:00

場所：Web 会議(Zoom)

1) 専門医生涯教育委員会からの終身認定医(仮称)案について

終身認定医(仮称)案の目的、認定基準、制度内容、注意事項について検討された。

2) 特定分野指導医申請・合格者推移について

特定分野指導医申請・合格者が減少している現状が共有された。

プログラム上指導医資格取得要件について議論され、更新前に分野指導医・特定分野指導医 1 個でプログラム指導医とする提案もあった。

- 3) 専門医認定審査において、「専攻医が常勤で勤務している連携候補施設に、専攻医自身の研修プログラム内施設に常勤する指導医が出張し、その指導下で行った症例は 2 例までは 10 症例として認めることとする。」とされるが、2 例以上に拡大できるか、専門医認定委員会で再検討することとなった。